

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人  
清瀬市社会福祉協議会

# 目 次

はじめに	1
1. 組織運営	2
2. 地域福祉事業	10
3. 第1層生活支援コーディネーター業務	18
4. 助成事業	20
5. 生活福祉資金貸付事業	22
6. ボランティア・市民活動センター事業	23
7. 共同募金	31
8. 地域包括支援センター事業	34
9. 権利擁護センター事業	38
10. 障害者福祉センター事業	45

# 令和4年度 社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会事業報告

10月に策定した第4次清瀬市民地域福祉活動計画、第4期に入った障害者福祉センターの指定管理者運営の開始に伴い、積極的に事業に取り組みました。

地域福祉活動計画の策定にあたっては、市内6カ所で地域懇談会を行うとともに、地域福祉フォーラムを実施し、広く地域の声に耳を傾け、目指すべき方向性を市民と共有する場を設けました。

障害者福祉センターは、愛称を「おおぞら」と名付け、新たなスタートを切りました。従来の機能訓練事業に加え、一般市民を対象としたワンポイントリハビリ、介護保険の要支援者を対象とした基準緩和型デイサービスを開始し、いずれも順調に利用者が伸びています。他事業もコロナ禍から3年を過ぎ、多くの事業で利用者が回復しているところです。ボランティア・市民活動センターや地域包括支援センターが地域活動団体と共に取り組む、コミュニティカフェ、切手整理サロン、ケアメンの集いなども定着し、おおぞらは、地域共生社会のプラットフォームとしての機能を高めました。

権利擁護センターでは、成年後見制度利用促進のための中核機関としての事業を開始しました。法人後見支援事業の開始のほか、成年後見制度の利用に関する相談と継続的な支援の機能を高めるとともに、新しいリーフレット作成発行などを通じ、広報にも力を入れました。情報発信は法人全体で注力し、地域包括支援センターでは社協包括を身近に捉えてもらうよう「しゃきょう包括通信」を、障害者福祉センターではご利用者及びご家族向けに「おおぞら通信」を新たに発行しました。また、コロナ禍で支援ニーズが顕在化した外国人に向けては、清瀬国際交流会と協働で「困ったときのヘルプカード」を発行し、情報がつながり、必要な支援につながることを目指しました。

相談支援では地域包括支援センターのケアプラン作成や相談対応件数が軒並み増えています。生活支援コーディネーターも高齢者の生活支援や社会参加を進めるため、買い物支援やIT活用の取り組みに着手しています。また、特例貸付の受付は終了しましたが、フードバンクの利用も増えています。社会福祉法人社会貢献事業協議会で取り組んだ「はたらく相談会」や貸付償還相談等の対応の中で、支援が行き届きにくい層への相談支援を継続しました。

新しい取り組みや相談支援の対応が増える一方、必要な人員体制の整備には苦勞し、これからの課題として残った部分もありました。

以下、各事業の実施状況の詳細について報告します。

## 1. 組織運営

### 法人運営

法人運営に必要な理事会、評議員会を実施するとともに、適正な運営が図られるよう第三者的なチェック機能をもつ場を設けた。

#### (1) 理事会

開催日	内 容
6/13	育児・介護休業等に関する規程一部改正，特定相談支援事業運営規程一部改正，障害児相談支援事業運営規程一部改正，令和3年度事業報告 令和3年度収入支出決算，令和4年度資金収支補正予算，令和4年度第1回評議員会
11/16	就業規則一部改正，嘱託職員就業規則一部改正，臨時職員就業規則一部改正，生活介護運営規程一部改正，清瀬ひまわり園運営規程一部改正，機能訓練事業所運営規程一部改正，学童クラブのびのび運営規程一部改正，同行援護事業所運営規程一部改正，共生型地域密着型通所介護事業所運営規程廃止，生活介護事業所共生型通所介護事業運営規程，機能訓練事業所共生型通所介護事業運営規程制定，令和4年度資金収支補正予算，令和4年度第2回評議員会
1/26	清瀬市障害者福祉センター事業管理者変更(決議の省略)
2/10	施設長の任免(決議の省略)
3/15	給与規則一部改正，管理者変更，令和5年度清瀬市社会福祉協議会表彰者，令和4年度資金収支補正予算，令和5年度事業計画，令和5年度予算，令和4年度第3回評議員会

#### (2) 評議員会

開催日	内 容
6/29	育児・介護休業等に関する規程一部改正，特定相談支援事業運営規程の一部改正，障害児相談支援事業運営規程の一部改正，令和3年度事業報告，令和3年度収入支出決算，令和4年度資金収支補正予算
11/30	就業規則一部改正，嘱託職員就業規則一部改正，臨時職員就業規則一部改正，生活介護運営規程一部改正，清瀬ひまわり園運営規程一部改正，機能訓練事業所運営規程一部改正，学童クラブのびのび運営規程一部改正，同行援護事業所運営規程一部改正，共生型地域密着型通所介護事業所運営規程の廃止，生活介護事業所共生型通所介護事業運営規程，機能訓練事業所共生型通所介護事業運営規程，令和4年度資金収支補正予算
3/27	給与規則一部改正，令和4年度資金収支補正予算，令和5年度事業計画，令和5年度予算

#### (3) 監事監査

開催日	内 容
5/31	令和3年度決算監査

(4) 会計検査

開催日	内 容
5/25	令和3年度下半期内部経理検査・会計理事検査
11/22	令和4年度上半期内部経理検査・会計理事検査

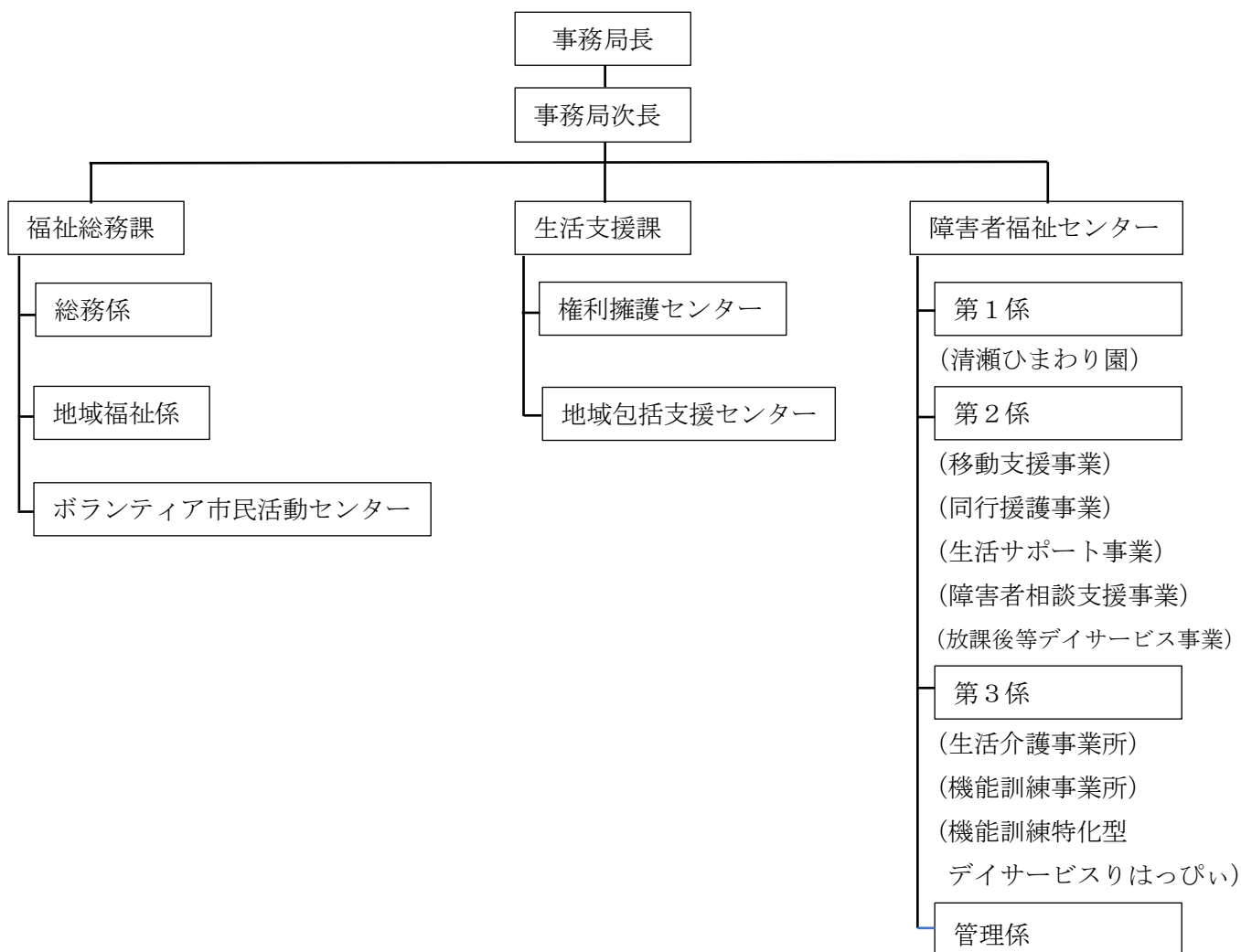
(5) 苦情解決第三者委員

開催日	内 容
12/19	センター事業利用に関するアンケート 苦情・要望等への対応状況

職員構成

(1) 組織構成

(令和5年3月31日現在)



(2) 職員数 (単位：人 令和5年3月31日現在。( )内は前年度の人数)

区分	正規職員	嘱託職員	臨時職員	合計
事務局長		1 (1)		1 (1)
事務局次長	(1)	1		1 (1)
福祉総務課	1			1
総務係	2 (2)	1 (1)		3 (3)
地域福祉係	3 (4)	3 (2)	1 (3)	7 (9)
ボランティア・市民活動センター		2 (2)	2 (2)	4 (4)
生活支援課		1 (1)		1 (1)
権利擁護センター	3 (1)	(2)	1 (1)	4 (4)
地域包括支援センター	4 (3)	1 (1)	(1)	5 (5)
障害者福祉センター	(1)	1		1 (1)
第1係	4 (5)	3 (3)	8 (11)	15 (19)
第2係	3 (3)	2 (1)	3 (3)	8 (7)
第3係	1 (1)	1 (1)	4 (4)	6 (6)
管理係	1 (1)	2 (2)	3 (1)	6 (4)
合計	22 (22)	19 (17)	22 (26)	63 (65)

(3) 採用退職の状況 (単位：人)

	正規職員	嘱託職員	臨時職員	合計
採用	2	5	3	10
退職	4	3	5	12

職員研修

(1) 参加状況

①法人・組織運営関係	5件
②地域福祉事業	17件
③生活福祉資金貸付事業	9件
④地域福祉権利擁護事業	5件
⑤地域包括支援センター事業	10件
⑥ボランティア・市民活動センター事業	4件
⑦障害者福祉センターおおぞら	26件

新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 取組状況

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染拡大防止及び職員とその家族の福祉の向上を図るため、必要な対応を実施した。

- ①テレワークの運用（事業継続緊急対策助成金活用）
- ②感染拡大防止に係る職務専念義務免除の拡充

## 会員増強

4月に会員増強月間を設け、広く呼びかけを行ったほか、車椅子貸出しや講座実施時、地域事業などの場で案内を行い、会員加入につなげた。

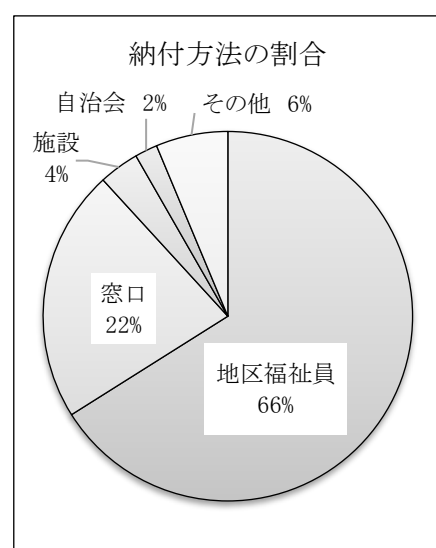
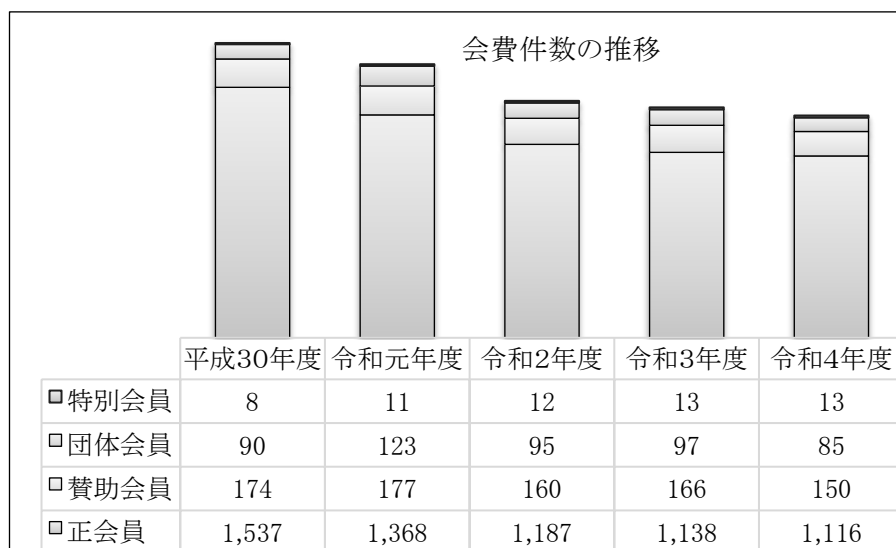
### (1) 会員増強運動

期間	主な内容
4/1～4/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区福祉員を介し市民に呼びかけ</li> <li>・単年度加入の方に対し、郵便振込みでの会費納入の呼びかけ</li> <li>・各団体・社会福祉施設等への加入の呼びかけ</li> <li>・会員向け情報誌「社協かわらばん」(年2回)を作成し、全会員へ配布</li> </ul>

### (2) 会費の納入状況

地区福祉員（59名）を介した納付方法が主となっている。

種類	件数(件)	口数(口)	金額(円)	前年度(R3:円)	前年度比
正会員	1,116	1,627	813,500	822,000	99%
賛助会員	150	178	178,000	207,000	86%
団体会員	85	96	288,000	324,000	89%
特別会員	13	13	130,000	130,000	100%
合計	1,364	1,914	1,409,500	1,483,000	95%



### (3) 地区福祉員連絡会

- ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催中止
- ②各地区における地区連絡会：旭が丘地区

### (4) 会員向けサービスの実施

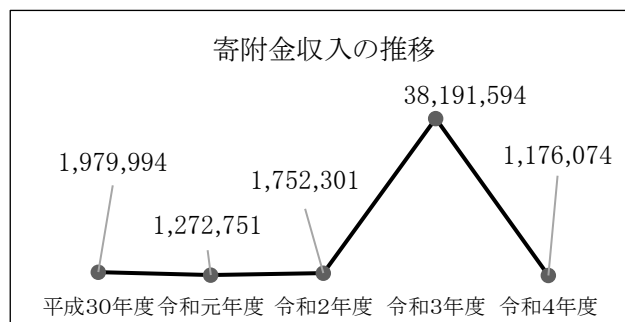
- |           |             |
|-----------|-------------|
| ①車椅子貸出し   | ②備品貸出し      |
| ③ふれんどサービス | ④会員向け情報誌の発行 |

## 財源確保

寄付金、募金箱の設置や各種事業収入を自主財源として確保し、安定した法人運営を図るため、多様な形で財源確保に努めた。

### (1) 寄付金

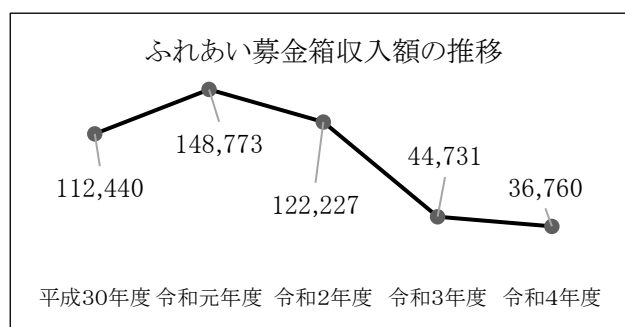
	令和4年度	前年度(R3)	前年度比
件数(件)	67	62	108%
金額(円)	1,176,074	38,191,594	3%



### (2) ふれあい募金箱

- ①市内20カ所に常設
- ②令和4年度下半期 未集金

	令和4年度	前年度(R3)	前年度比
金額(円)	44,731	36,760	121%



### (3) 入れ歯リサイクル事業

地域から寄せられた入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が資源化し、その収益金の一部を寄付受領した。

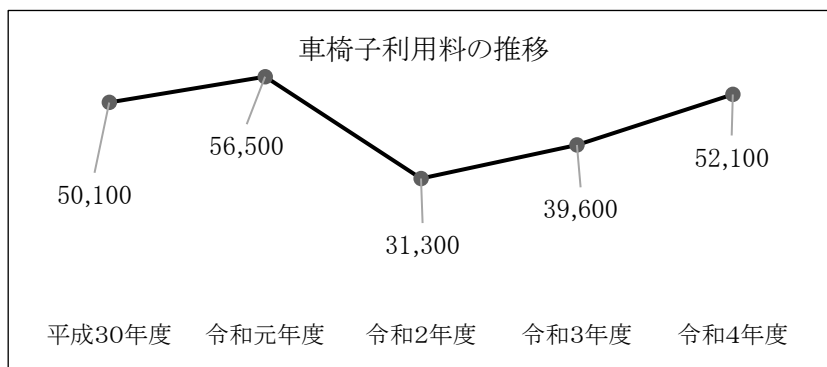
- ①市内10カ所に常設

	令和4年度	前年度(R3)
金額(円)	0	467,658

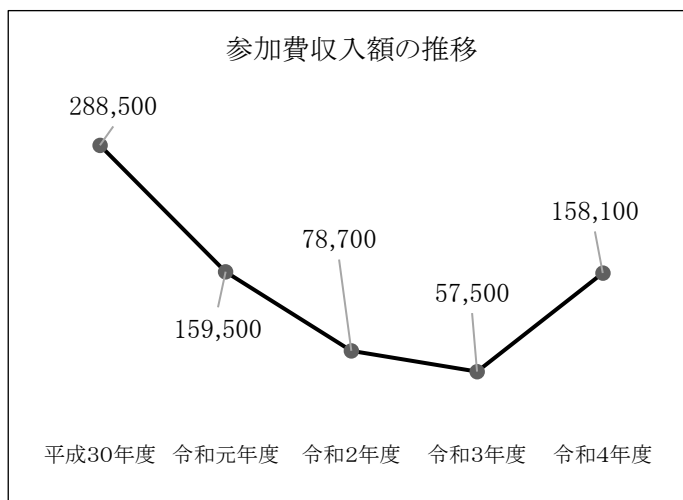
※令和3年度:平成28年度からの6年分をまとめて換金

### (4) 応益負担

- ①車椅子貸出事業利用料
  - ・1ヶ月ごとに500円  
(会員は1ヶ月まで無料)
  - ・配達は往復の場合500円  
(片道のみの場合300円)



②講座等参加費収入	
講習名	参加費(円)
いきいき男性料理教室	34,300
音訳ボランティア養成講座	33,000
セカンドライフ お楽しみ倶楽部	9,000
手話ボランティア養成講座	80,000
夏の体験ボランティア	1,800
合計	158,100



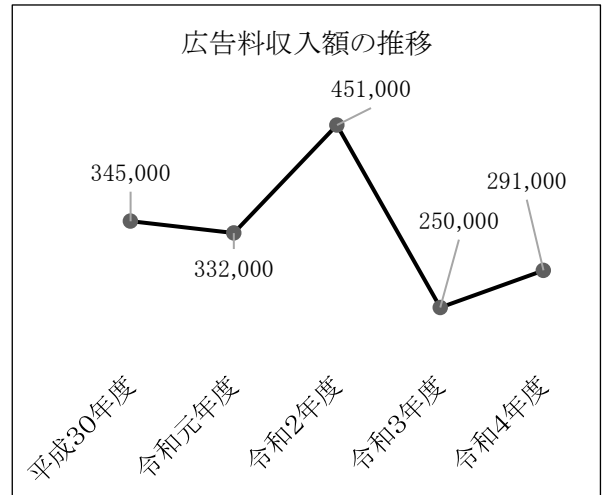


(5) 社協だより広告料

法人機関紙(社協だより)に広告枠を設置し、社協会員及び市内の企業や事業者等を中心に広告主として申請、決定されたものを掲載した。

令和2年度より広告掲載業務の一部を委託。

	令和4年度	前年度(R3)	前年比
件数(件)	17	16	106%
金額(円)	257,000	240,000	107%
委託料(円)	34,000	10,000	340%
合計金額(円)	291,000	250,000	116%



(6) バザー・地域イベント

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でバザー・地域イベントは中止。

令和3年12月からボランティア・市民活動センター内で市民から寄付いただいた手作りを「ぼらかつショップ」として販売した。

①ぼらかつショップ販売額 73,607円

(7) 収益事業(自動販売機の設置)

自動販売機を障害者福祉センターに1台、コミュニティプラザに3台、市民活動センターに1台設置。収益は法人全体で管理し、その管理手数料を自主財源として扱った。

①手数料収入 568,851円 (前年度: 494,063円 前年比: 115%)

(8) 実習生等の受入れ

地域の福祉人材育成のため、実習及び見学生を受け入れている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部受入を見合わせた。計12名受け入れた。

- ①社会福祉士養成課程
  - 日本社会事業大学 7名
  - 十文字学園女子大学 1名
  - 武蔵野大学 1名
- ②在宅看護学実習 国立看護大学校 3名
- ③謝金 385,400円 (前年度: 231,000円)

広報宣伝

(1) 社協だよりの発行

①発行状況 年4回発行 (1回 26,000部発行)		
号数	発行日	内 容
228号	4/1	障害者福祉センター紹介、社協会員加入募集他
229号	7/1	夏の体験ボランティア募集、令和3年度決算、事業報告他
230号	10/1	共同募金、第4次清瀬市民地域福祉活動計画他
231号	1/1	年頭挨拶、各イベント報告、市民表彰他

## ②配布先等

- ・新聞折り込み、市内自治会、市内公共施設、福祉団体関係機関等へ郵送し、広く社協だよりを周知できるように努めた。

## ③編集委員会

- ・編集委員へアンケートを実施し、紙面内容等を検討した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、委員会は中止となった。

## (2) ホームページによる情報提供

リアルタイムな情報提供を目指し、職員全体で更新に努めた。

①更新作業 112回 (前年度 90回)			
分類	更新回数(回)	分類	更新回数(回)
地域情報	11	ボランティア・市民活動情報	38
助成金情報	3	共同募金	3
講座・イベント案内	2	災害関連	1
職員募集	1	社協からのお知らせ	21
事業報告等	7	障害者福祉センターおおぞら	25

## (3) フェイスブックページ

①更新作業 72回 (前年度 71回)

## (4) 地域イベントを通じたPR活動

- ①地域で開催される催しに参加・実施協力を行い、社会福祉協議会の広報を行った。
- ②令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により地域イベントが中止となった。

## 表彰

地域福祉の推進に貢献をいただいた方に対して表彰及び表彰推薦を行った(敬称略)。

### (1) 高額寄付者表彰

寄付金、共同募金等で10万円以上の寄付者、物品で10万円相当以上の寄贈者を表彰した。また、社協事業に多大なご協力をいただいた方も表彰した。

#### ①一般寄付者表彰 7件(個人・団体)

恩田 克己 (株)ホームケアセンターイワサキ 小林 奈保絵 萩倉 孝子  
公益社団法人 東村山法人会 穂本 美佐子 加川 隆一郎(故人)

#### ②事業協力者表彰 3件(団体)

旭が丘地区 地区福祉員 株式会社大塚商会  
第一生命労働組合所沢支部清瀬営業オフィス

### (2) 市民表彰 2件(団体)

①ボランティア団体: きよせ猫耳の会 けやきロードギャラリーきれいにし隊

## 後援名義使用承認

他団体が実施する地域福祉推進に有益な事業に対し、後援名義の使用を承認した。

団体名	内容
一般社団法人 明るい相続就活協会	安心・安全！市民のための！エンディングセミナー ～あかるい人生の再設計～
東京土建一般労働組合 清瀬東久留米支部	第45回 住宅デー
一般社団法人 AAO！	5周年記念講演
弁護士法人 多摩パブリック法律事務所	無料法律相談

## 人材育成・研修協力

### (1) 実習生の受け入れ

社会福祉士を目指す方の現場実習を受け入れ、その養成を図った。

- |            |    |
|------------|----|
| ①日本社会事業大学  | 7名 |
| ②十文字学園女子大学 | 1名 |
| ③武蔵野大学     | 1名 |

### (2) 職場体験（中学生）の受け入れ

- |            |    |
|------------|----|
| ①ふれんどルーム   | 9名 |
| ②清瀬市立第五中学校 | 3名 |

## 広域ネットワーク

### (1) 取り組み協力

東京都が中心に進める会議や他地域で実践報告等の協力を行った。

- |   |    |            |
|---|----|------------|
| ①生活支援コーディネーター初任者研修                      | 2回 | 6/17, 7/15 |
| ②東京都地域公益活動推進協議会区市町村<br>ネットワーク代表者連絡会実践報告 | 1回 | 2/1        |

### (2) 情報共有・連携に関する会議参加

社会福祉協議会全体の取り組み推進のため、情報共有・連携を図る会議に参加した。

- |                                |    |                         |
|--------------------------------|----|-------------------------|
| ①東京都社会福祉協議会<br>会長・役員・事務局長研究協議会 | 1回 | 9/30                    |
| ②区市町村社会福祉協議会部会                 | 2回 | 5/12, 2/9               |
| ③区市町村社会福祉協議会事務局長会幹事会           | 4回 | 4/21, 7/1, 10/20, 1/19  |
| ④区市町村社会福祉協議会事務局長会              | 4回 | 4/28, 7/12, 10/27, 1/26 |
| ⑤重層的支援体制整備事業<br>基礎講座および意見交換会   | 1回 | 8/25                    |
| ⑥都内社協職員連絡会運営委員会                | 1回 | 6/1                     |
| ⑦都内社協職員連絡会広報委員会                | 4回 | 7/19, 8/16, 8/17, 2/21  |
| ⑧東京都地域公益活動推進協議会幹事会             | 3回 | 5/16, 10/21, 1/24       |

⑨東京都地域公益活動推進協議会 地域ネットワーク推進委員会	3回	7/6, 8/30, 11/29
⑩東京都地域公益活動推進協議会 区市町村ネットワーク代表者連絡会	1回	2/1
⑪多文化共生に関わる情報交換会	1回	5/23
⑫コープみらい交流会	3回	5/27, 6/24, 7/2
⑬都内子ども食堂・子どもの食支援 ネットワーク等担当者連絡会	1回	2/21

### 地域連絡

関係機関が主催する会議等に参加し、地域の実情把握と情報共有等に努めた。

#### (1) 清瀬市主催会議

①地域福祉推進協議会	1回	10/31
②高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 策定委員会	2回	10/25, 3/29
③清瀬市要保護児童対策地域協議会 実務者会議	3回	7/28, 11/17, 2/17
④清瀬市自殺対策推進連絡会	1回	11/28
⑤清瀬市高齢者虐待防止ネットワーク会議	1回	3/17

#### (2) 地域団体の主催会議

①NPO法人ウィズアイ事業報告会	1回	7/22
②日本社会事業大学附属子ども学園保護者会	2回	4/18
③社会福祉法人清悠会評議員選任解任委員会	2回	6/3, 3/31
④社会福祉法人権の木会評議員会	1回	6/17
⑤社会福祉法人東京アフターケア協会 評議員会	1回	6/27
⑥清瀬市民生委員・児童委員協議会 定例会(各月)		

## 2. 地域福祉事業

### 地域福祉活動計画の推進

#### (1) 第4次清瀬市民地域福祉活動計画策定委員会

第4次清瀬市民地域福祉活動計画策定に向け、地域ニーズの把握を行い、市民や関係機関とともに、これからの地域福祉活動の在り方を検討し、計画化する委員会。

計画期間は令和4年度から令和8年度。

①地域福祉活動計画策定委員会（令和3年度6月より全7回実施）		
開催日	会場	主な内容
4/11	清瀬市コミュニティプラザ (オンライン併用)	計画素案(中間まとめ) 地域懇談会について 他
7/25	ころぽっくるホール (オンライン併用)	地域懇談会・パブリックコメント報告 計画素案・基本理念 他
9/5	清瀬市コミュニティプラザ (オンライン併用)	計画素案(最終) 評価推進体制 他

## ②福祉のまちづくり懇談会

・中間まとめの周知とともに、地域課題の共有と地域づくりにつながる懇談会を実施。

開催日	会場	参加人数
6/1	下宿地域市民センター	13名
6/10	中清戸地域市民センター	12名
6/14	清瀬市コミュニティプラザ	21名 ※職場体験3名
6/16	野塩地域市民センター	17名 ※職場体験1名
6/22	竹丘地域市民センター	17名
6/27	清瀬けやきホール	20名
参加者合計		100名

## ③中間まとめへのパブリックコメントの募集

- ・募集期間 6/30～7/15
- ・意見者数 0名 意見数：0件

## ④第4次清瀬市民地域福祉活動計画書の発行

- ・発行数 冊子 400部 概要版 1,500部

## ⑤職員ワーキング 1回実施

## ⑥職員向け説明会 4回実施

## (2) 地域福祉フォーラム

第4次清瀬市民地域福祉活動計画の周知と地域福祉活動の実践報告を行うフォーラムを実施した。

- ①日時 12/20
- ②場所 清瀬けやきホール／オンライン・アーカイブ配信
- ③内 容
  - 1, 基調講演 日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男氏
  - 2, 計画説明 第4次清瀬市民地域福祉活動計画策定委員会  
副委員長 赤川都氏
  - 3, 実践報告 特定非営利活動法人ウィズアイ 増田恵美子氏  
清瀬育成園ひだまりの里きよせ 齋藤靖之氏  
地域づくりの会ひまわり105 石崎勇仁氏  
清瀬市社会福祉協議会
- ④参加者 会場 37人 オンライン 27人
- ⑤動画配信視聴数 第1部46件 第2部28件 ※配信期間1/4～1/31
- ⑥地域福祉フォーラムワーキングチーム 実施：4回

## 地域の繋がりづくり

### (1) 福祉のまちづくり懇談会

身近な地域でつながりあい、福祉課題を共有しあい、課題解決に向けた取り組みを進めていくために、清瀬市シティプロモーション課と共催による地域づくりの会を開催した。

①十小地域	
開催回数	内容
16回 おたより発送 10回	円卓会議を進める清瀬市企画課と共催。 平成28年6月より毎月話し合いを重ね、令和元年5月住民組織立上げ。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により会議開催は休止したが、令和4年5月より再開。夕涼み会のあり方検討を行った。
②清明小地域	
開催回数	内容
6回	円卓会議を進める清瀬市企画課と共催。 平成30年9月住民組織を立ち上げ。令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により全体の会議開催は一時休止したが、令和4年度は再開し、情報共有、子どもの食サポート事業への協力、水防訓練への参加、清明小20周年行事への参加を行った。
③四小地域	
開催回数	内容
なし	円卓会議を進める清瀬市企画課と共催。四小エリアでは円卓会議を開催してきたが、地域づくりの会として令和元年6月よりリスタート。 令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により会議開催等休止中。

### (2) 円卓・地域づくりの会リーダー情報交換会

円卓・地域づくりの会の横のつながりづくりと活動支援を目的に、清瀬市シティプロモーション課と共催で開催。地域づくりに関わる生活支援コーディネーターにも参加を呼びかけた。

①開催日 12/22 参加者：22名

### (3) 清瀬市社会福祉法人社会貢献事業協議会（きよせの社福）

種別の垣根を超えた社会福祉法人が、地域の課題を共有し、ネットワークの輪を広げるとともに、地域における公益的な取り組み等を行うことを目指し、連携事業を実施。5法人の代表者を中心に、全体会議、部会を設けて、運営を行った。

①代表者会		
実施日	会場	主な内容
5/17	清瀬市コミュニティプラザ	①運営会議の進め方 ②情報共有 他
9/27		
1/17		

②運営会議		
実施日	会場	主な内容
6/28	清瀬市コミュニティプラザ	①前年事業報告・決算報告 ②現況報告 ③現状共有 他
2/22	オンライン併用	①次年度事業計画・予算 ②現況報告 ③現状報告 他
③部会		
部会名・テーマ	会場	実施回数
A部会 『生活困窮者への支援』	清瀬市コミュニティプラザ (オンライン併用)	3回 7/28, 8/30, 11/29
B部会 『有事の際の相互協力体制づくり』		2回 8/30, 11/29

#### ④はたらく相談会の開催

- ・ A部会において企画、実施。「ひとまず相談」の機能と社会福祉法人のはたらく「場」を活かし、コロナ禍で生活困窮された方や就労等の経験が少ない方など就労に困難を抱える層も対象とした、就労と生活の総合的な相談会を開催した。
- ・ 開催日 2/8
- ・ 開催場所 清瀬市生涯学習センター アミューホール
- ・ 参加者 10名
- ・ 共催 清瀬市
- ・ 協力 ハローワーク三鷹 東京都福祉人材センター  
きよせ生活相談支援センターいっぽ

#### (3) 広域連携・事業協力

東京都地域公益活動推進協議会区市町村ネットワーク代表者連絡会（2/1開催）にて取り組みを報告した。

#### (4) サロン活動団体連絡会

サロン活動を行う団体同士が、それぞれの取り組みや課題を共有し、活動につなげていくことを目指して実施した。オンラインを併用して開催した。

①実施日 9/30 参加者：15名

### 地域福祉情報の提供・啓発

#### (1) 『「もしも」のときの安心ノート』の発行・配付

(株)ジチタイアドとの協働により、これからの人生を考えていただくきっかけづくりとして、エンディングノートを発行。公共施設や高齢者支援機関などを通じて配付した。

①発行部数 1,400部

#### (2) 『困ったときの「ヘルプカード」』の発行・配布

情報が行き届きにくい外国人への情報サポートを目的に、清瀬市シティプロモーション課及び清瀬国際交流会と協働作成。公共施設や支援団体、貸付相談等を通じて配布。ホームページにヘルプカードに連動した情報ページを新規作成し、情報アクセスの向上につなげた。

①検討会の開催：5回 発行部数 1,000部

(3) サロンニュースレターの発行・配布

従来のサロンマップを見直し、コロナ禍で変化するサロン等の情報発信を強化したニュースレターとして発行した。清瀬市福祉総務課と協働発行。

①発行 2回 (11月、3月) 発行部数 各1,000部

(4) ミニふれあいまつりの開催

社会福祉や地域の様々な活動への理解を深め、交流しあう場として、バザーやコンサートなどを実施する催し。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度より実施中止していたが、規模を縮小して実施した。

①ふれあいまつり 懇談会	1回	5/30
②ふれあいまつり あり方検討会	1回	6/30
③ふれあいまつり 実行委員会	3回	8/5, 9/13, 10/17
④ふれあいコンサート (開催)		10/17
⑤ミニふれあいまつり (開催)		10/29
⑥ふれあいまつり 報告会	1回	3/9

地域活動への支援
----------

(1) 地域活動への支援と協議等の場への参加

種別	団体数	協議等 (回)	備考
新しい活動の立ち上げ相談	4	8	子どもの居場所づくり、バリアフリー演劇の上演他
既存グループへの支援	2	4	サロン、高齢者新聞
円卓会議	3	21	七小地域、三小地域、四中地域

(2) 地域活動団体等主催事業への協力・参加

地域活動団体等が行う取り組みに対して、事業協力・参加を行った。

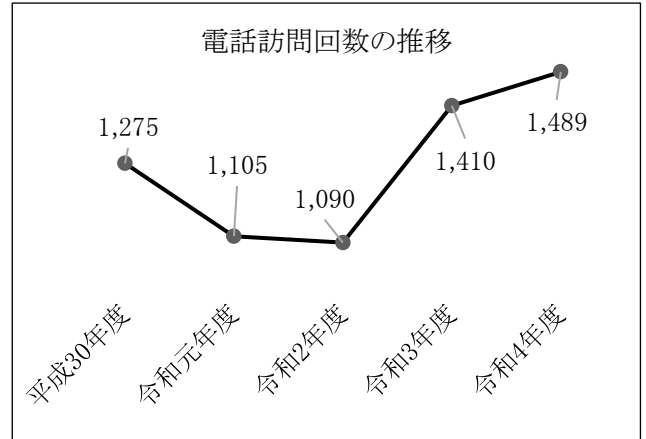
- ①子ども食堂連絡会 4回 5/12, 7/21, 9/22, 12/21  
・おひさまネットワークが呼びかけた、子ども食堂を運営する団体の連絡会に参加した
- ②松山DXまつり 1回 11/12  
・七小校区の松山DX地域づくりの会が主催し、住民、学校、地域活動団体、福祉施設等が協働して行う地域のおまつりの実施に協力した
- ③ひきこもり女子会フェスタ2023 1回 1/15  
・清瀬市ほか都内自治体等が主催し、ひきこもり状態や生きづらさを抱える女性たちの集いの企画、実施に協力した
- ④集まれ！落ち葉でお芋大作戦 1回 12/10  
・きよせエンジン (信愛第2層協議体) の主催する多世代交流イベントの企画、実施に協力した



## 電話訪問事業

ひとり暮らし高齢者に対し、日常生活の安全確保と孤独感の解消を図ることを目的に実施した。

	令和4年度	前年度(R3)
利用登録者数(人)	27	20
新規	10	4
終了	3	3
延べ利用者数(人)	284	247
訪問回数(回)	1,489	1,410
再訪問回数	188	164
関係機関連絡調整	6	1



## 新たなニーズへの取り組み

### (1) 相談支援

	21件 (前年度 11件)
初回相談	障害者の就労相談, 障害者家族の就労相談, ひきこもり・家族関係, 病気による不安, 子育て相談, 複数家族の問題への対応, 高齢者の居場所相談, 路上生活者からの相談, 刑務所出所後の生活相談, 行政や制度への不満 など

### (2) 必要な支援の仕組みづくり

新たなニーズについて、関係機関とともに検討し、必要な取り組みを進めた。

#### ①子どもの食サポート支援「きよちゃん子ども弁当」事業の実施

- ・歳末たすけあい募金を原資に、長期休校中に食支援が必要な子どもへのお弁当の配布を行った。市内11施設・団体に配布拠点を置き、市内2か所の障害者就労継続支援事業所の、お弁当作成の協力を得て実施した。
- ・実施回数      8回 (いずれも8月)                      ・提供食数      計342食

## 交通安全杖の頒布

高齢者の日常生活の安全を図るため、安価(600円)で杖を頒布。敬老大会での頒布を中心に行っていたが、現在は地域開催になったため窓口で受け付けている。

①頒布実績      年間頒布本数    0本 (前年度 0本)

## 被災地支援・追悼

東日本大震災の被災者支援活動

#### ①東日本大震災被災者追悼キャンドルin清瀬 (実行委員会による実施)

- ・追悼キャンドルの灯りを市民とともに灯し追悼と募金活動を行った。
- ・日時                      3/11                      17時～19時
- ・募金額                      110,000円 (石巻市社会福祉協議会へ寄付)

## 厚生援護

### (1) 緊急援護

応急的に支援が必要な方に対し、援護を行った。

①法外援護	1件	400円	(前年度1件 400円)
②火災見舞金	0件	0円	(前年度0件 0円)
③水道光熱費の緊急支出	0件	0円	(前年度0件 0円)
④応急生活支援金	0件	0円	(前年度1件 49,279円)

### (2) 養護児童の自立支援金

高校卒業等により児童養護施設を退所する児童に対し、自立生活の支援を行うため、支援金を交付した。

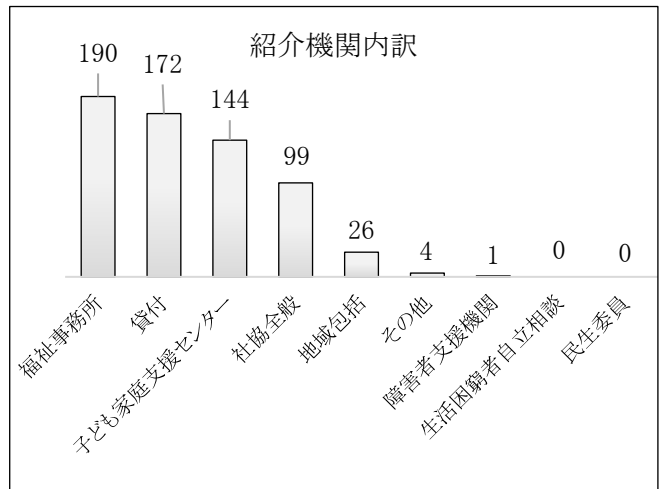
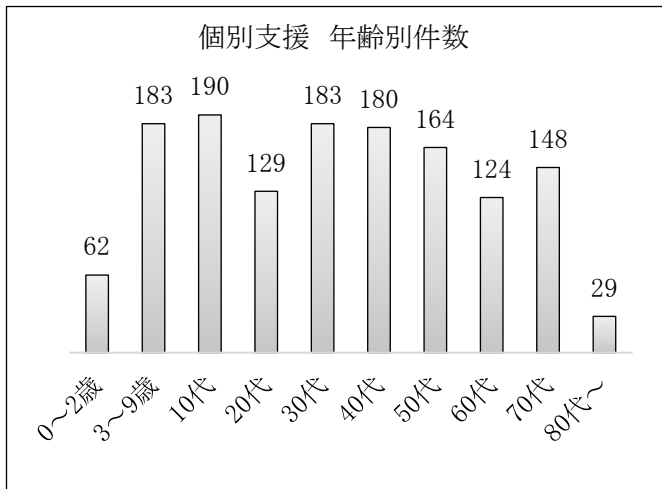
- ①交付対象            3名    (ベトレーム学園：3名  子供の家：0名)
- ②交付額                1名につき1万円

### (3) フードバンクきよせ事業

新型コロナウイルス感染症の影響等により、食の支援が必要となった方に対して、食料や日用品等の支援を行った。

清瀬市・ボランティアの協力を得て、令和2年7月15日より開始。

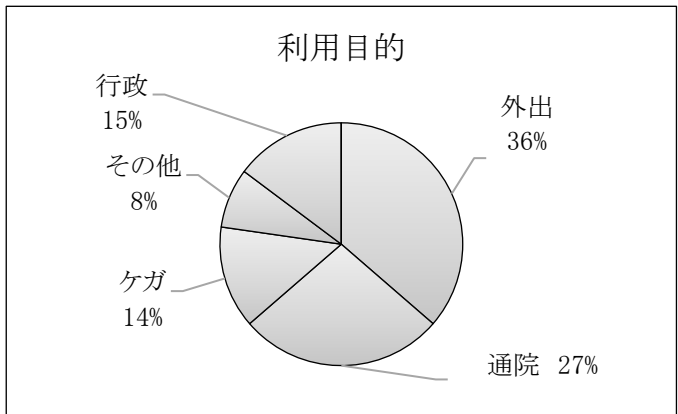
①寄付								
		令和4年度	前年度(R3)			令和4年度	前年度(R3)	
受付数 (件)	個人	346	340	受付量 (kg)	食品	7,381.07	6,284.41	
	企業・団体	255	207		日用品	184.50	242.16	
	その他	22	18		合計	7,565.57	6,526.57	
	合計	623	565					
②支援								
				令和4年度	前年度(R3)			
個別支援	支援世帯(世帯)				642	529		
	世帯人員(人)				1,390	1,034		
団体支援 (件)	支援団体				88	122		
	内訳	子ども食堂				41	44	
		困窮支援団体等				3	5	
		福祉施設等				10	67	
その他				34	2			



## 車椅子貸出事業

一時的に車椅子を必要とする方に貸出を行った(事情により最大3ヶ月まで貸出)。

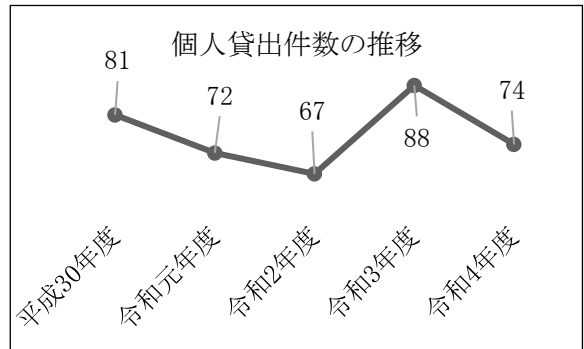
- ①社協会員            1ヶ月まで無料
- ②非会員                1ヶ月500円
- ③配送手数料        片道300円 往復500円



### (1) 貸出実績

所有台数50台 (令和5年3月31日時点)

①個人貸出			
	件数	配達回収(件)	利用料金(円)
社協会員	38	3	10,500
非会員	36	12	41,600
合計	74	15	52,100



### ②公共施設への貸し出し

9か所

- |            |            |              |
|------------|------------|--------------|
| 下宿地域市民センター | 野塩地域市民センター | 松山地域市民センター   |
| 生涯学習スポーツ課  | 児童センター     | 清瀬市コミュニティプラザ |
| 中里地域市民センター | 竹丘地域市民センター | 消費生活センター     |

### ③事業への協力      7件

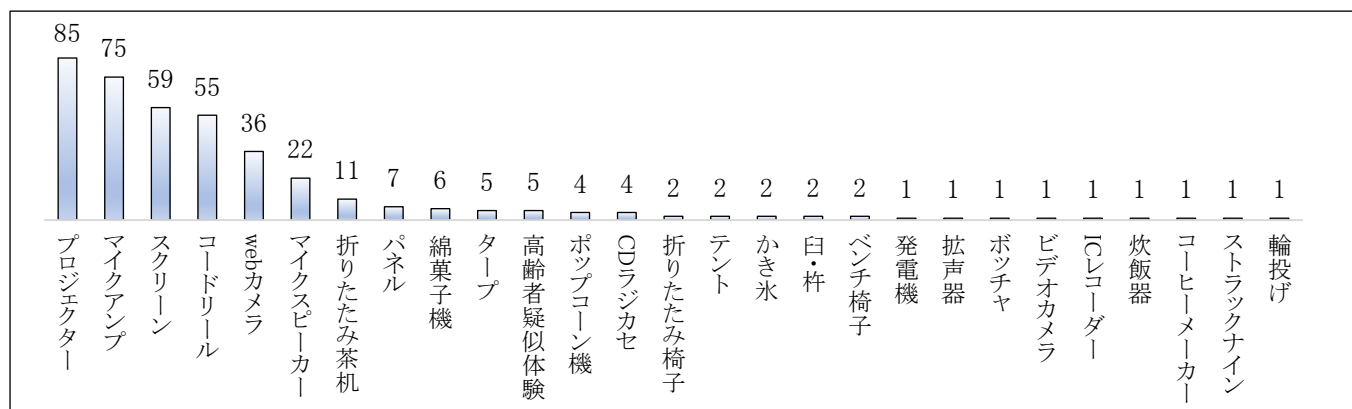
- ・福祉教育                    3件
- ・ボランティア事業        1件
- ・選挙管理委員会        2件
- ・障害福祉課                1件

## 地域活動のための備品貸出

地域で学びあったり、集いあったりする機会づくりを支援するために、活動に使用する備品を貸し出した（会員加入が前提）。

### (1) 貸出実績

(単位：件)



### (2) その他の貸し出し品

- ①DVDビデオデッキ      ②災害避難用おんぶ紐      ③台車      ④ウォータージャグ

## 3. 第1層生活支援コーディネーター業務

### 第1層生活支援コーディネーター事業

地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たしていく事業（清瀬市受託事業）。

#### (1) 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体の運営

生活支援、介護予防サービス体制整備に向けて、多様なサービス提供主体からなる協議体に参画し、定期的な情報共有、連携強化を図り協働によるささえあいの取り組みの推進を目指した。

- |                   |    |                           |
|-------------------|----|---------------------------|
| ①協議体開催            | 3回 | 5/23, 9/26, 2/14          |
| ②ワーキングチーム「移動支援」   | 4回 | 10/28, 11/25, 12/23, 1/20 |
| ③ワーキングチーム「高齢者とIT」 | 3回 | 11/10, 1/16, 3/13         |

#### (2) 第2層生活支援コーディネーターの連携・協働

地域活動支援の充実のため、各地域包括支援センターに配置された第2層生活支援コーディネーターと連携を図り、活動のバックアップを行った。

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| ①情報共有の場の設定（生活支援CO打合せ）             | 11回開催 |
| ②第2層地域の勉強会や準備会、会議への参加             | 43回参加 |
| （信愛地域…23回    社協地域…2回    清雅地域…18回） |       |

#### (3) 市内関係機関等との連携・協働

- |               |    |             |
|---------------|----|-------------|
| ①地域ケア合同会議     | 2回 | 6/29, 12/20 |
| ②社協エリア小地域ケア会議 | 2回 | 6/16, 11/17 |

③清雅エリア小地域ケア会議	2回	6/14, 11/15
④社協エリア自立支援型地域ケア会議	4回	7/21, 10/20, 1/19, 3/16
⑤買い物支援担当者連絡会	1回	3/30

#### (4) 介護予防・社会参加

##### ①10の筋トレ事業

・支え合い活動推進支援事業として、清瀬市リハビリ連絡会や第2層生活支援コーディネーター、東京都介護予防フレイル予防推進支援センターと連携して実施した。

- |                 |                  |                |     |
|-----------------|------------------|----------------|-----|
| ・体験会の実施         | 3回               | ・出前講座の実施       | 12回 |
| ・新たな自主グループの立ち上げ | 11団体             | ・スタッフミーティングの実施 | 2回  |
| ・活動団体調査         | 1回 (24団体：200名回答) | ・立上げ優先地域調査     |     |
| ・リーダー情報交換会      | 1回 (23団体：40名参加)  |                |     |

##### ②地域活動マッチングイベント

・コロナ禍でのイベントは中止。高齢者の社会参加機会をつくるため「きよせで地域デビュー」チラシを作成、配布した。

#### (5) 生活支援の取り組み

①ケアマネジャーへのインフォーマルサービス活用研修会	1回	1/24
②高齢者と買物について考える会	2回	4/26, 5/27
③ネットショッピング体験会	2回	6/24, 6/28
④地域情報BOOK作成に向けた情報収集		
⑤支え合い型移動支援勉強会	1回	2/3

#### (6) 研修・会議等

①東京都生活支援体制整備事業担当者連絡会		
②清瀬市地域包括支援センター運営協議会	3回	5/23, 9/26, 2/14
③生活支援体制整備事業担当者情報交換会	2回	5/18, 2/13
④サロン団体連絡会	1回	9/30
⑤円卓会議・地域づくりの会リーダー情報交換会	1回	12/22
⑥令和4年度生活支援コーディネーター研究協議会	1回	1/25
⑦社協職員北北ブロック研修「市民の自立を促す会話術」	1回	3/6
⑧「フレイル予防出前講座」に係る講師向け研修	1回	3/13
⑨たまCOS情報交換会	1回	3/17

#### (7) その他

①旭が丘見守り懇談会	1回	6/10
②認知症を地域で支えるワークショップ	2回	1/28, 1/30
③チームオレンジ清瀬 ミーティング	2回	8/25, 9/29
④生活支援コーディネーター初任者研修事例発表	2回	6/17, 7/15
⑤清瀬市健康大学取組み報告	1回	3/10
⑥フレイル予防ちよい足し研修協力	1回	3/28

#### 4. 助成事業

##### ご近所福祉活動応援助成

地区福祉員と社協会員が行う小地域単位での支えあい活動を支援し、社協会費を地域福祉の向上に活かした。 ※申請：0件

##### 地域福祉活動応援助成

支えあい活動を推進するために、歳末たすけあい募金を原資に助成を行った。申請のあった事業に対し、共同募金会配分推せん委員会で審査のうえ、助成決定した。

##### (1) 助成概要

①申請	11団体	464,000円	
②交付決定	11団体	464,000円	(前年度 6団体 236,000円)
③最終助成金額	11団体	441,674円	

団体名	金額(円)	助成内容
旭が丘みんなのサロン	34,400	会場使用料、備品借用料
緑蔭交流サロン	8,274	会場使用料、チラシ・ニュース作成費、インク代、消毒スプレー
みんなで歩こう会	30,000	支援者交通費、チラシ印刷代
のびのび親の会	100,000	バス借り上げ代
チームりかすて	15,000	行事保険代
台田スマイル	30,000	用紙代、文房具、除菌シート、非接触体温計、ゲーム、サーキュレーター他
きよせふれあいまつり実行委員会	100,000	音響設備、楽譜、消耗品、石灰、CD他
松山DX地域づくりの会	50,000	テント、腕章
たんぽぽ	19,000	行事保険、洗剤、メニュースタンド、ピッチャー、グラス、会計伝票他
ごはん処おおぞら	30,000	行事保険、食器洗剤、ガスボンベ
おひる処	25,000	施設利用料、行事保険
合計(11団体)	441,674	

##### 介護予防活動団体育成事業

介護予防活動団体の活動を円滑に進めるため、相談支援と補助金交付を行った。

(清瀬市受託事業) ※申請5団体:決定5団体

団体名	金額(円)	申請内容
10の筋トレ 緑蔭クラブ	28,620	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料等
10の筋トレ 55のしお5	14,400	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料等
10の筋トレ 松山クラブ	24,000	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料、備品整備等
10の筋トレ 竹丘ひまわり	30,000	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料等
10の筋トレ スパチカ元町	30,000	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料、備品、消耗品等
合計(5団体)	127,020	

## 助成事業の推せん（利用支援）

### （１）助成金情報の地域への提供と助言

地域団体の活動を円滑に進めるため、財団等が行う助成情報の周知を行った。

- ①ボランティア・市民活動センターホームページの専用コーナーによる情報提供。
- ②自治会、団体向けの連絡会等において助成金制度の仕組み等の情報提供。
- ③該当すると考えられる地域団体に個別に情報提供。

### （２）赤い羽根共同募金地域配分（B配分）の申請に伴う推せん

公費財源での整備が困難な、児童福祉施設、障害者（児）福祉施設を対象に、小規模修繕や備品整備などに充てる経費を配分すいせん委員会の審査により推薦した。

- ①申請 4団体 620,000円 他助成金決定による辞退：1団体
- ②推せん決定 3団体 380,000円（配分上限額380,000円）

団体	金額	助成内容
放課後等デイサービスAAO!	0	コロナ感染対策 空調設備(エアコン)
のしお一丁目保育園	180,000	小破修繕事業
セルプ清瀬	100,000	作業荷物運搬の為のカゴ台車
清瀬作業所	100,000	個別対応の為の備品整備 パーテーション・作業用椅子
合計	380,000	

### （３）赤い羽根共同募金整備費・特別事業費配分（A配分）の申請に伴う意見書作成

施設整備や特別事業費などを対象とした全都配分申請について、配分すいせん委員会の意見書を作成した。

- ①作成件数：1件

### （４）その他地域団体の助成申請に伴う推薦

<p>①助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体の活動を円滑に進めるため、財団等が募集する助成事業に申請する際に推薦書を作成した。作成件数：1件（うち決定1件）</li> </ul>		
申請団体	助成元	助成経費内容
一般社団法人 AAO!	出光美術館	省エネエアコンへの交換
<p>②その他推薦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団等が募集する助成事業の推薦書を作成した。作成件数：1件</li> </ul>		
対象団体	推薦先	内容
竹丘子ども食堂	社会福祉法人全国社会福祉協議会	ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業助成

## 5. 生活福祉資金貸付事業

### 貸付状況

所得の少ない世帯や障害者・高齢者のいる世帯に対し、必要な資金の貸付を行うことにより、世帯の生活の安定と経済的自立を図る事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

#### （1）貸付内容等の動向

①相談件数 ※令和元年以降は、特例貸付の相談を含む					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
新規受付	107	1,613	800	273	34%
貸付相談	284	5,696	3,941	1,444	36%
償還相談	95	319	472	894	189%
合計	486	7,628	5,213	2,611	50%

②新規貸付件数（特例貸付を除く）					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
福祉費	0	0	0	1	—
緊急小口	2	2	2	2	100%
教育支援	3	7	7	4	57%
総合支援	0	0	0	0	—
不動産	0	0	0	1	—
ひとり親	1	2	2	2	100%
合計	6	11	11	10	90%

③新規申込件数（特例貸付）					
・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少・途絶した世帯に対する生活福祉資金（貸付実施期間 令和2年3月25日～令和4年9月30日）。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
相談受付件数	30	1,588	809	171	
申し込み総数	3	1,578	830	138	
緊急小口資金申込件数	3	675	235	77	
総合支援資金	申込件数	0	460	231	61
	決定件数	0	396	298	45
	※延長申込件数	0	252	92	0
総合支援資金 （再貸付）	申込件数	0	191	272	0
	決定件数	0	100	358	0

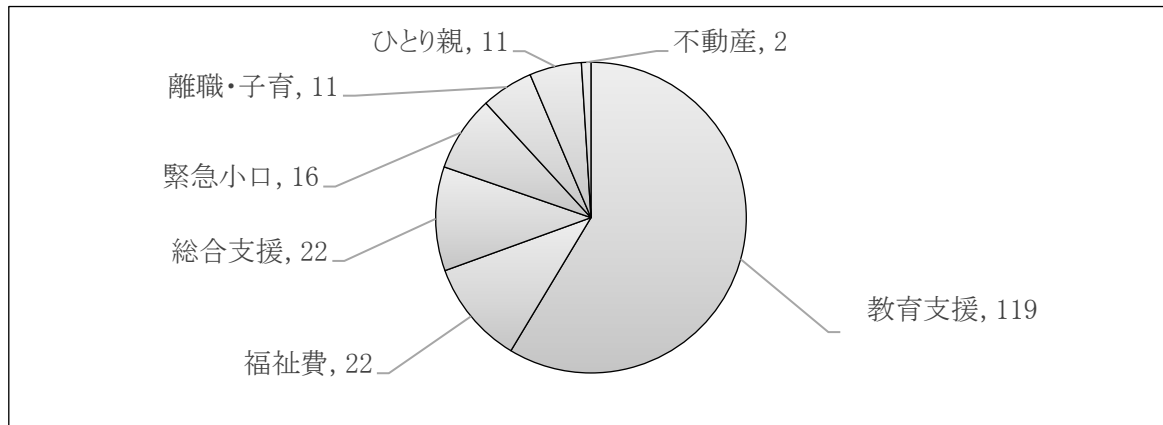
※令和3年7月受付終了

④年度末債権総数 ※特例貸付除く					
	令和元年度	※令和2年度	※令和3年度	令和4年度	前年比
件数	183	175	192	203	105.7%



⑤令和4年度年度末債権総数 内訳

(単位：件)



⑥年度末償還状況

※当年度償還期限内のもの。償還期限後、過年度のものは除く。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	73.70%	64.76%	63.18%

⑦他奨学金等推薦

- ・ヒカリ興業奨学金 推薦1名

(2) 担当者会議・研修

①生活福祉資金新任職員研修会	7回	4/18, 4/19, 5/10, 5/17, 5/24, 6/7, 6/14
②新型コロナ感染症に係る緊急小口等特例貸付償還に関する説明会	1回	9/15
③生活福祉資金貸付事業説明会	1回	6/24
④生活福祉資金特例貸付の償還免除等に伴う本則貸付の運用に係る説明	1回	10/28
⑤新型コロナ感染症に係る緊急小口等特例貸付事務説明会	1回	12/1
⑥生活福祉資金区市町村社協連携システム説明会	1回	1/27

(3) 他機関連携

①生活困窮者自立相談支援機関支援調整会議	12回	
②清瀬市民生・児童委員協議会生活福祉部会勉強会	1回	4/12

## 6. ボランティア・市民活動センター事業

### 運営・会議参加等

(1) きよせボランティア・市民活動センター運営委員会

地域住民及び関係機関から選出された委員によりボランティア・市民活動センター事業の実施計画、課題、運営について等を審議、検討する委員会。感染拡大防止を図るため、今年度はすべての会議をオンラインと会場実施の併用型で実施した。

開催日	内 容
6/6	事業報告, 事業動向、市民活動の隙間のニーズの受け止めとこれから 他
9/12	事業動向報告, コミュニティカフェ, つながりにくくなっているボランティア 他
12/5	事業動向報告, 協働・事業連携から, 職場体験の関わりから, 他
3/13	事業動向報告, 事業計画 他

(2) 連絡会への参加

①北北ブロック・東京都災害VCアクションプラン 推進会議合同防災まち歩き等PT会議	3回	4/6, 5/10, 7/28
②東日本大震災被災者追悼キャンドル実行委員会	2回	4/7, 2/2
③東京ボランティア・市民活動センター 事務局会議	1回	4/13
④フードバンクきよせ つなぐ会	11回	4/20, 5/27, 6/24, 7/22, 8/26, 9/9, 10/6, 11/4, 12/3, 1/12, 3/8
⑤清瀬市内子ども食堂連絡会	4回	5/12, 7/21, 9/22, 12/21
⑥たねまきびと清瀬ブログ会議	1回	5/13
⑦第一層協議体	3回	5/23, 9/26, 2/14
⑧しんあい清戸の里運営会議	3回	6/10, 12/9, 2/10
⑨北北ブロックボランティア担当者連絡会	4回	7/15, 10/4, 1/17, 3/29
⑩マッチングイベント会議	2回	9/28, 11/8
⑪まちの腕利き掲示板説明会	2回	10/21, 2/4
⑫東京都区市町村NPO/共助担当職員連絡会議	2回	10/28, 1/11
⑬第一層協議体「高齢者とIT」ワーキング会議	3回	11/10, 1/16, 3/13
⑭清瀬市デジタルデバイド格差是正事業 スタッフ会議	2回	11/10, 1/10
⑮さくらの苑運営推進会議	3回	11/16, 1/18, 3/15
⑯第一層協議体「高齢者と移動」ワーキング会議	2回	12/22, 1/20
⑰令和5年度ボランティア保険説明会	1回	2/21
⑱中里団地買い物支援テストイベント打ち合わせ	1回	3/8

(3) 研修会への参加

- ①『市民の自立を促す会話術』 3/6

(4) 自衛消防訓練 2回実施

- ①第1回 実施日：3/22 避難誘導訓練  
②第2回 実施日：3/29 初期消火訓練

## センター利用状況

### (1) 登録ボランティア

①個人ボランティア登録数 209名

・うち新規登録 22名 (男7名 女15名)

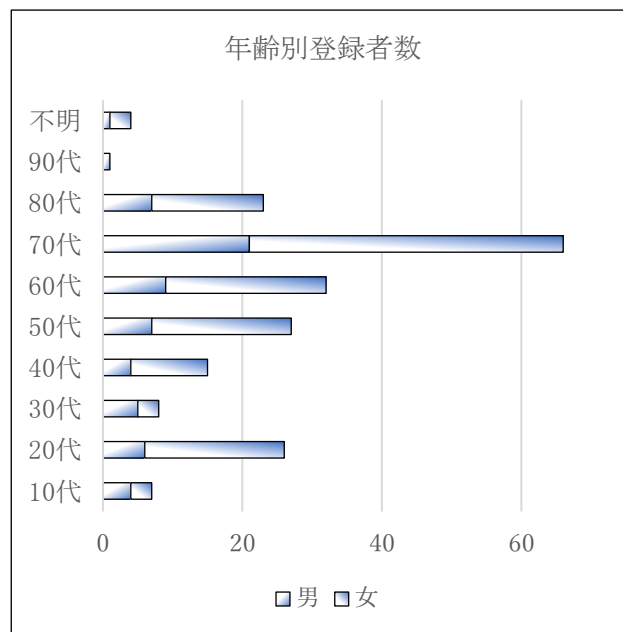
②前年度登録数 194名

・うち新規登録 39名

年代	男	女	計	年代	男	女	計
10代	4	3	7	60代	9	23	32
20代	6	20	26	70代	21	45	66
30代	5	3	8	80代	7	16	23
40代	4	11	15	90代	1	0	1
50代	7	20	27	不明	1	3	4

※平均約59.1歳

合計	男	女	計
合計	65	144	209



③登録ボランティア団体 68団体 (前年度73団体)

### (2) 活動室の使用状況

#### ①ボランティア・市民活動センター

場所	回数(回)	前年度(R3:回)	人数(人)	前年度(R3:人)
会議室1	347	366	3,154	3,346
会議室2,3	257	231	1,810	1,381
合計	604	597	4,964	4,727

#### ②コミュニティプラザ201室

	令和4年度	前年度(R3)
使用団体数	7	7
使用のべ回数(回)	71	73
使用のべ人数(人)	392	308

#### ③窓口対応状況

	令和4年度	前年度(R3)
窓口来所者(人)	4,297	2,818
総来館者(人)	9,261	7,545

### (3) ボランティア保険の取扱い

(単位：件)

種別	令和4年度	前年度(R3)
ボランティア保険(基本)	906	813
ボランティア保険(天災)	153	144
行事保険(一般)	353	185
行事保険(当日参加型)	125	103

## (4) 備品貸出

種別	回数	枚数	金額(円)	前年度額(R3)	備考
コピー機	1,456	1,456	14,560	8,720	
印刷機	154	67,928	56,260	40,820	
スキャナー	0	0	0	0	
ラミネーターA4		135	4,050	270	
ラミネーターA3		12	720	120	
ノートパソコン	0	0	0	0	
プロジェクター	18	0	9,000	9,000	
カラープリンターA3	1	1	100	0	
インクプリンターA1	18	61	26,000	12,800	
インクプリンターA2	4	5	1,500	0	
インクプリンターA3	0	0	0	0	
インクプリンターその他	1	1	1,430	1,430	
合計	1,652	69,599	113,620	73,160	

## (5) 相談支援の動向

(単位：件)

種別	件数	前年度 (R3)	内訳						
			高齢	障害	疾病	児童	住民全般	他	
ボランティア 依頼	47	37	7	15	5	8	5	7	
コーディネート	479	322	活動希望 169	活動紹介 206	受入打診 19	フォロー 24	保険 1	寄付 48	他 12
団体活動への 支援	241	266	活動支援 38	打診・協働 26	受入打診 24	フォロー 13	保険 11	寄付 22	他 4
センター事業	24	67							
その他	46	70							
合計	847	762							

## ボランティア・市民活動の広報・啓発

## (1) きよせぼらかつニュースの発行

ボランティア・市民活動に関する情報を定期的に発信し、広く関心を高めるとともに活動に役立つ情報と活動団体の取り組み周知を図る。

号	内容
4月号	セカンドライフお楽しみ倶楽部、音訳者養成基礎講座、ガイドブックの発行 他
5月号	募集中！清瀬のボランティア、活動紹介「旭が丘みんなのサロン」 他
6月号	清瀬で夏の体験ボランティア、報告「はじめての動物ボランティア」 他
7月号	ボランティアに役立つLINE講座、活動紹介「中清戸オレンジハウス」 他
8月号	切手整理サロン、活動紹介「清瀬グリーンマンションお助け隊」 他

号	内容
9月号	動物ボランティア講座，夏の体験ボランティア報告 他
10月号	きよせ保護犬・保護猫フェア，秋の自然ボランティア体験 他
11月号	手話講座初級，活動紹介「NPO法人いぬねこプロジェクト」 他
12月号	歳末カレンダー市，活動紹介「清瀬市子ども食堂連絡会」 他
1月号	わたしにもできる子ども食堂のつくり方，報告「大学生のボランティア体験」 他
2月号	災害ボランティアセミナー，報告「視覚障害を通じた福祉教育の取り組み」 他
3月号	ボランティア・ふれんどサービス相談会，活動紹介「コミュニティふれあいネット」 他

## 活動支援

### (1) 初めてのLINE講座 団体活用編

団体メンバー間のコミュニケーションと情報共有を図るツールとして、LINE活用のポイントを伝え、活動に活かしてもらうために実施した。

①開催日：7/22 参加者：8名

### (2) ビデオ会議ツール（Zoom）お試し相談会

対面でのコミュニケーション機会が取りにくくなる中、ビデオ会議ツールを用いてコミュニケーションや地域活動の会議などで活かされるよう実施した。

①開催日：11/11 参加者：1名

### (3) ぼらかつショップの開設

コロナ禍で作品発表・販売の機会を失った手作り品を作成する市民団体・福祉施設を支援するため、センター内に販売コーナーを設置。併せて市民の方から寄付された物品を販売した。

①出展団体 5団体

②売り上げ 171,050円

## 人材養成・学びの場

### (1) 手話奉仕員養成講座（入門編）

聴覚障害者等に対して、手話を用いたコミュニケーション支援に関わる市民を増やすために実施。全30回のうち前期分を実施した。

①実施期間：12/9～3/31（金曜日／全15回） 参加者：16名

### (2) 動物ボランティア【新】

人と動物が関わる問題について啓発を図るとともに、地域の中で動物に関わる活動に関わる方の掘り起こしと、つながりづくりを行った。

①はじめての動物ボランティア 4/23 参加者：15名

- ②動物ボランティア講座 10/1 参加者：20名
- ③動物ボランティア懇談会 3/4 参加者：7名

(3) 音訳者養成基礎講座

清瀬市の公共刊行物の音声版づくり、図書館での対面朗読や音声による情報のお届けに関わるボランティアを養成していくために実施した。

- ①実施期間：5/10～6/28（全8回） 修了者：11名

(4) セカンドライフお楽しみ倶楽部

コロナ禍により、従来からの高齢者料理教室の新規募集は休止したが、外出と交流の機会を設けるため、感染症対策を払いながら代替的な取り組みを実施した。

- ①「清瀬の自然」 5/12 参加者：11名
- ②「スマホ講座」 7/20 参加者：8名

(5) ちゃんと知りたい・話したいLGBTQ【新】

当事者の方から啓発につながる取り組みをしたいとの相談を受け、地域協働事業として実施した。

- ①開催日：12/3 参加者：12名

(6) 講座 わたしたちにもできる 子ども食堂の作り方【新】

子ども食堂関係者から、子ども食堂に中心的に関わる担い手が少なく活動の広がりには欠けるとの話を受け、おひさまネットワーク、NPO法人ウィズアイとの共催により実施した。

- ①1/28 参加者：21名
- ②2/4（フォローアップ編） 参加者：9名

(7) 高齢者男性料理教室（いきいき）

コロナ禍により、新規の参加者募集は休止。清瀬市の公共施設の飲食に関する基準に準拠して実施。

- ①実施回数：6回 9/21, 10/19, 11/16, 1/18, 2/15, 3/15 参加者：6名

(8) 福祉教育

社会福祉に関する理解を図るため、障害当事者やボランティア、障害者福祉センターの協力を得て実施した。

- ①第十小学校 4年生向け
  - ・開催日：9/28 ・参加者：87名
  - ・内容：「障害理解を深める」Ⅰ手話体験・講話 Ⅱ車いす体験 Ⅲガイドヘルプ体験
- ②清瀬市ジュニアリーダー向け
  - ・開催日：1/6 ・参加者：11名
  - ・内容：「視覚障害について」「ガイドヘルプ体験」

## 活動体験・相談会

### (1) 夏！体験ボランティア2022

ボランティア・市民活動の一端に触れ、体験的に社会福祉や様々な地域活動に関する理解を深め、ボランティア意識の醸成を図るために実施した。

①実施期間：7/25～8/31

②受け入れ団体：24団体（前年度：21団体）

（単位：人）

参加者属性	令和4年度	前年度(R3)
小学生	108	107
中学生	19	11
高校生	11	16
大学生	1	2
専門	1	0
大人	61	39
幼児	0	0
合計	201	175

（単位：人）

受入活動	令和4年度	前年度(R3)
高齢	0	0
障害	2	6
病院	0	0
児童	43	64
サロン	0	0
環境	177	121
福祉活動	70	48
文化	25	0
合計	317	239

### (2) 秋の自然ボランティア体験会

若年層の方が活動の担い手として増えにくい中、団体の活動に親子で触れる機会をつくり、活動の理解ときっかけづくりをするために実施した。

①10/29

参加者：6名

②11/5

参加者：17名

### (3) ボランティア・たすけあいサービス相談会

ボランティアや生活支援サービスに関心のある方に向けて個別相談会を実施した。

①開催日：3/22 参加者：6名（ボランティア登録2名 ふれんど登録2名）

### (4) 大学生と地域をつなぐボランティア体験プログラム

コロナ禍によりボランティア活動の機会が制限されている大学生向けに、ボランティアに関する理解を図り、体験の機会を設けた。

日本社会事業大学ボランティアセンター1 stepと共催。

①ボランティア個別相談会 11/8

参加者：8名

②活動体験

参加者：9名（のべ15活動に参加）

③ボランティア体験 受け入れ：23団体

参加者：17名（のべ39活動）

## きよせ介護サポーター事業

### (1) 事業内容

高齢者の介護予防と社会参加を目的に、サポーター登録した65歳以上の市民が高齢者施設などで地域貢献活動をした時間に応じて介護サポーター事業交付金を交付した。

## (2) 実績報告

①登録の状況 (単位：人)			
	男性	女性	合計
新規	0	1	1
継続	29	158	187
退会	3	14	17
合計	26	145	171

②活動実績 実働：27名 交付金112,000円

③サポーター受け入れ施設 40事業所

## (3) 介護サポーターだよりの発行

コロナ禍により活動停滞が続いているため、受け入れ施設の情報をまとめたニュースを登録者向けに発行した。

## (4) 介護サポーターアンケートの実施

### 新しい課題に向けて（居場所づくり・ネットワークづくり）

#### (1) コミュニティカフェづくり【新】

障害者福祉センターにおいて、地域の中に様々な人が交流・つながる居場所ができるよう、ボランティア団体との協働によりコミュニティカフェをスタートさせた。

①ごはん処おぞら 開催：毎週木曜日（ごはん処共催）

②カフェおぞら 開催：第3金曜日（クラブたんぽぽ共催）

#### (2) 切手整理サロン【新】

コミュニケーションを図りながら切手整理する機会を定期的につくり、外出の機会や社会との接点が作りにくい方でも気軽に参加できる新しい居場所を設けた。

①実施回数：5回

・8/18 参加者：9名      ・10/21 参加者：12名      ・1/13 参加者：10名  
・2/10 参加者：1名      ・3/10 参加者：12名

#### (3) 動物問題を考える会

動物をめぐる問題では、人の生活や福祉に関わることが多い。地域包括支援センター、動物行政担当者、動物支援に関わるNPOなどとともに、問題を共有し検討していくために実施した。

①開催日：10/14 参加者：10名

### 災害ボランティアに関する取り組み

#### (1) 災害ボランティア登録

①登録者数：100名（女性71名 男性29名） 前年度末の登録者数：102名



(2) 災害ボランティアセミナー『風水害への備え～東京マイタイムラインをつくろう』

①開催日：2/27 参加者：9名

(3) 広域ネットワーク【新】

北多摩北部ブロックボランティアセンター連絡会が主催し災害支援NPO団体とともに防災まち歩きを実施し、平时に市民参加で行う取り組みを通じ、関係団体との顔の見える関係づくりを行った。

①開催日 5/15

②内容 東村山市にて市民・関係団体と災害時を想定したまち歩き

ふれんどサービス事業

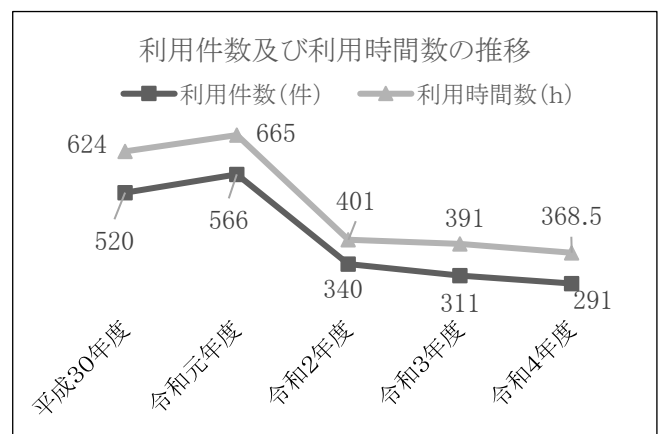
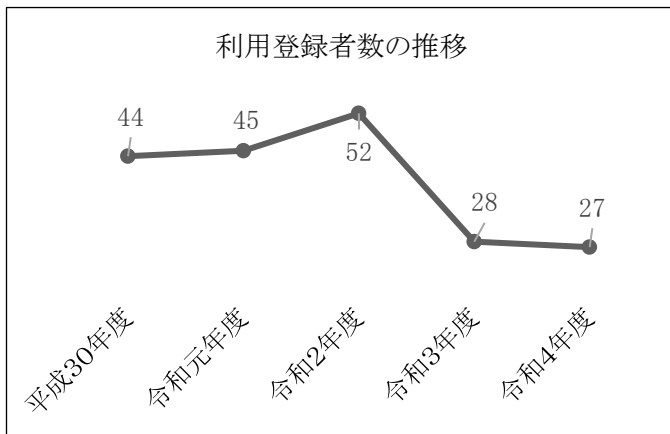
高齢者世帯等で、生活保持に支障のある方（利用会員）に対し、協力会員が有償でサービスを提供する。

(1) 登録者数

①利用会員 ・登録数 年度当初：28名 年度末：27名 ・実働数：のべ139名

②協力会員 ・登録数 年度当初：23名 年度末：28名 ・実働数：のべ105名

(2) 利用登録、件数、時間数の推移



(3) 協力会員向けの取り組み

①ふれんどサービス協力会員懇談会 3/1 参加者：9名

(4) 協力会員募集

①ふれんどサービス説明会 10/6 参加者：9名 4名登録

7. 共同募金

共同募金全般

(1) 地域会議

共同募金の適正な推進のため地区協力会を実施し、併せて共同募金を財源とした助成事業の配分推せん委員会を、オンラインと会場の併用で開催した。

会議	日程	内容
第1回地区協力会・配分推せん委員会	9/12	令和3年度応援助成報告 令和4年度応援助成審査 B 配分審査 他
第2回地区協力会・配分推せん委員会	1/16	地域活動助成審査 令和5年度助成について他
第3回地区協力会・配分推せん委員会	3/7	募金報告 事業計画 令和5年度応援助成審査 新たな助成枠の創設について 他

## (2) 地域への協力依頼

- ①自治会、商店会、地区福祉員、老人クラブ、ボランティア団体、事業所の職員等に依頼
- ②公共施設、商店、事業所、福祉施設に募金箱の設置依頼
  - ・赤い羽根共同募金 29件
  - ・歳末たすけあい募金 31件

## (3) 東京都共同募金会連携調整

- ①東京都共同募金会事務説明会(オンライン) 6月9日
- ②東京都共同募金会第1回運営会議 6月14日
- ③歳末たすけあい運動事務説明会(オンライン) ※動画視聴
- ④東京都社会福祉大会 12月23日
- ⑤東京都共同募金会会長表彰の推薦 1件(グリーンタウン清戸団地管理組合法人)

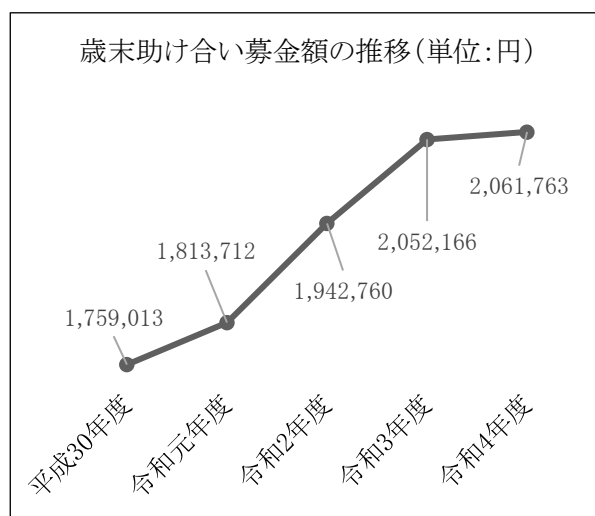
## (4) 広報、周知

- ①社協だより・社協ホームページ・市報への掲載
- ②ミニふれあいまつり等での募金・配分団体の紹介展示
- ③地域福祉フォーラムでの取組報告

## 歳末たすけあい運動の実施

### (1) 事業内容

- ①募金総額 2,061,763円  
(前年度 2,052,166円 前年比100.5%)
- ②街頭募金額 34,946円(12月17日)  
(前年度 76,283円 前年比45.8%)
  - ・清瀬駅北口・南口
  - ※音声テープによる募金呼びかけ
- ③auPAY募金(R5.3.20終了)6件 募金額 934円
- ④その他募金
  - ・旭が丘団地 地区福祉員  
12/17 旭が丘Eラウンジ集会所 募金額 297,622円(前年度280,661円)
  - ・募金百貨店プロジェクト 4件 募金額 40,442円



(2) 歳末たすけあいイベント実施（歳末カレンダー市）

- ①目的 ・歳末たすけあい運動の意義と配分先の活動を広く市民に周知を図る  
・無理のない形で、多くの市民に歳末たすけあい運動への参加を得る
- ②内容 ・企業等からカレンダーや手帳等の無償提供を受け、1点100円以上の募金を促す  
・歳末たすけあい運動と助成団体の紹介コーナー  
・開催期間：12月中旬～1/31  
・開催場所：2カ所（2拠点）  
清瀬市コミュニティプラザ2階 きよせボランティア・市民活動センター
- ③の他 ・12月下旬～1/31、市内地域市民センター窓口でも実施した。
- ④募金額総額 706,852円（前年度 672,408円 前年比105.1%）

(3) 令和3年度募金（令和元年度・令和2年度募金の繰越※含む）に係る令和4年度配分

※新型コロナウイルス感染症の影響による特例対応

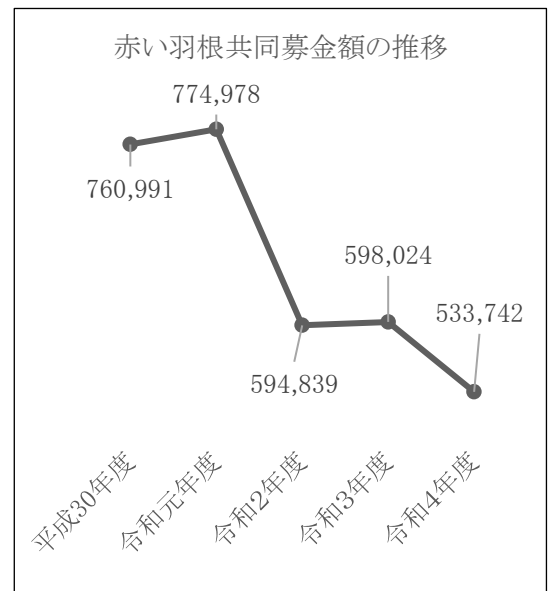
①地域福祉活動応援成事業	446,274円
②福祉啓発、ボランティア育成事業	670,862円
③防災コーディネート・まちづくり	167,476円
④見守り、見舞金支給、困窮者支援	687,467円
⑤地域福祉情報提供事業	200,000円
⑥第4次地域福祉活動計画推進事業	400,000円
合 計	<u>2,572,079円</u>

赤い羽根共同募金への協力（地区協力会事務局）

(1) 事業内容

民間社会福祉推進のための募金運動

- ①募金総額 533,742円  
（前年度 598,024円 前年比89.3%）
- ②募金運動
  - ・街頭募金募金額 62,317円（10/3,5）  
（前年度 40,138円 前年比155.3%）
  - ・清瀬駅北口／南口  
※10/5は日本社会事業大学菱沼ゼミの協力。  
※音声テープによる募金呼びかけ
- ③auPAY募金（R5.3.20終了）61件 募金額 1,298円



義援金

(1) 平成30年7月豪雨災害義援金

※令和4年6月30日受付終了

\*最終送金総合計

522,529円

- |                            |  |          |        |
|----------------------------|--|----------|--------|
| (2) 令和3年豪雨災害義援金            |  |          |        |
| ※令和4年3月31日受付終了             |  | *最終送金総合計 | 5,000円 |
| <br>(3) 令和4年8月3日からの大雨災害義援金 |  |          |        |
| ※令和4年12月28日受付終了            |  | *最終送金総合計 | 4,386円 |

<b>募金プロジェクト事業</b>
-------------------

(1) 募金百貨店プロジェクト

市内の商店や企業等と連携し、商品の売り上げの一部を共同募金に寄付する「寄付つき商品」を企画し、販売を通して無理なく募金運動に参加いただくプロジェクト。

新規1件（累計4件）

①plume dolce「～想い灯そう～candle de SDGs」

## 8. 地域包括支援センター事業

<b>運営・管理</b>
--------------

(1) 市内地域包括支援センターとの連絡会議

適切な事業運営、市内地域包括支援センターの連携と情報共有を図るために実施した。

- ①地域包括支援センター運営協議会
- ②四包括センター長会議
- ③四包括ネットワーク会議
- ④包括職種別「主任ケアマネ、保健師・看護師、社会福祉士」会議の開催
- ⑤ほうかつだより編集委員会
- ⑥自立支援型地域ケア会議
- ⑦小地域ケア会議

(2) 地域連携

市内の関係者・機関と相互理解と支援を行うために参加した。

- ①ケアマネジャー団体「けあまねっと」の会議・研修
- ②認知症家族会「ゆりの会」
- ③認知症初期集中支援チーム会議
- ④個別地域ケア会議
- ⑤第2層協議体いきいき会議
- ⑥グループホーム・デイサービス運営推進会議
- ⑦清瀬市医療・介護連携推進協議会
- ⑧メディケアnet
- ⑨チームオレンジ
- ⑩民生・児童委員定例会
- ⑪高齢者等の見守り活動に関する連絡会議

(3) 研修会等への出席

専門職として必要な技量・知識習得のため研修会に参加した。

- ①高齢期フレイル研修
- ②介護支援専門員現任研修
- ③主任介護支援専門員更新のための年4回以上の研修参加
- ④高齢者虐待対応研修
- ⑤東京都在宅療養推進研修
- ⑥スーパービジョン研修

(4) ふれあいネットワーク事業

地域で声かけ見守り活動を行っている「ふれあい協力員」「協力機関」とともに高齢の安否確認とふれあい事業を行った。

- ①ふれあいネットワーク事業関係者連絡会
- ②ふれあいネットワーク事業清雅・社協合同連絡会 (7/22 中清戸市民センター)
- ③ふれあいネットワーク事業合同連絡会および講演会  
『消費生活相談の現場から』(10/13 アミューホール)

(5) 介護予防教室・講演会等の実施

①認知症サポーター養成講座 ・地域で認知症高齢者への声かけや見守り活動を行うサポーター養成講座を開催した			
開催日	開催方式	参加者 (人)	会場
6/13	出張講座	48	芝山小学校
9/14	出張講座	16	アミュー会議室
10/4	出張講座	76	第八小学校
11/11	出張講座	88	第十小学校
1/27	出張講座	94	第五中学校
②シニアしっとく講座 ・介護者教室の一環として一般市民及び高齢者を対象に開催した			
開催日	開催方式・テーマ	参加者 (人)	会場
11/29	出張講座 (老後に考えたいお金のこと)	14	生涯学習センター

(6) 法テラスによる支援者相談

虐待対応などの対応困難ケースに適切な対応を行うために、法テラスの弁護士による清瀬市への出張相談を受け、利用者支援につなげていく事業 (コロナのため開催なし)。

## 支援状況

### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護認定で要支援1及び2に該当した方の及び総合事業対象者のケアプラン作成等

①介護予防サービス計画作成(単位:件)				②介護予防ケアマネジメント作成(単位:件)			
	令和4年度	前年度(R3)	前年度比		令和4年度	前年度(R3)	前年度比
直営	842	596	141%	直営	659	735	90%
委託	761	395	193%	委託	427	772	55%
合計	1,603	991	162%	合計	1,086	1,507	72%

### (2) 総合相談支援等

介護をはじめ保健福祉等の総合相談支援事業

①相談者 (単位:人)				②受付方法 (単位:件)					
	令和4年度	前年度(R3)	前年度比			令和4年度		前年度(R3)	
						件数	合計	件数	合計
本人	1,011	788	128%	電話	継続	331	2,140	261	1,670
家族等	761	671	113%		新規	1,809		1,409	
福祉関係者	685	458	150%	来所	継続	62	170	46	150
医療関係者	257	249	103%		新規	108		104	
包括	28	69	41%	訪問	継続	49	704	46	525
行政	283	115	246%		新規	655		479	
地域近隣	90	64	141%	その他 ・メール	継続	6	138	12	94
その他	37	25	148%		新規	132		82	
合計	3,152	2,439	129%	合計	継続	448	3,152	365	2,439
					新規	331		261	

③相談内容 (単位:件)				④対応内容 (単位:回)			
	令和4年度	前年度(R3)	前年度比		令和4年度	前年度(R3)	前年度比
介護	2,731	2,517	109%	傾聴 ・情報提供	1,601	2,615	61%
保健福祉	907	706	128%	連絡調整 ・情報収集	3,607	2,581	140%
認知症	206	185	111%	ケース対応	212	89	238%
権利擁護	271	143	190%	申請代行	150	6	2,500%
医療	465	353	132%	その他	21	10	210%
クレーム	47	23	204%	合計	5,591	5,301	105%
経済・住まい	255	103	248%				
その他 ・支援措置	95	79	120%				
合計	4,977	4,109	121%				

(1) 社協エリア第2層協議体(いきいき会議)

① 支え合いの仕組みづくり

- ・小地域ケア会議に参加し意見交換し、いきいき会議として取り組めることを検討。
- ・他地域協議体と意見交換や見学を行った。

② 福祉用具展示会

- ・いざ介護が必要になった時に役立つ情報を知ってもらう機会として開催。
- ・家族やご本人様の負担を軽減する福祉用具を知り、使い方など体験してもらった。また、包括支援センターとのつながりを持つ機会を作った。

③ ウォーキングラリー

- ・第2層協議体で作成した『お出かけ支援マップ』を利用し、エリア内の公共施設・福祉施設など13か所を巡るウォーキングラリーを開催した。

④ ケアメンの集い

- ・男性介護者を中心とした『ケアメンの集い』を、講座終了後自主グループ化し、月に1回の集まりとして継続した。情報交換や家族介護の事例集を作成することを目的としている。

(2) 住民主体の活動の立ち上げ・運営支援

① きよせ10の筋トレ

- ・中清戸宮の台地域にて、住民向け自主グループ『10の筋トレ宮の台』の立ち上げを支援。
- ・デイサービスやわらぎ休業日を利用した10の筋トレグループ『もみじやわらぎ会』の立ち上げを支援。
- ・下清戸シニアクラブ長寿会の活動を中心に地域住民が参加する10の筋トレグループの立ち上げを支援。
- ・7月、10月、12月にアミューホールにて体験会を開催。参加者を既存のグループにつなぐ支援を実施。
- ・体力測定会の開催、ちょい足し講座参加希望者への調整を行った。

② 地域をつなぐ「お花の力」プロジェクト

- ・清瀬第五中学校の生徒と地域住民が、花を植えることを通して交流する機会を設けた。学校支援コーディネーターと連携し生徒、保護者及び地域住民が季節の草花を通じて交流を行った。

③ 移動販売

- ・商店が少ない地域で暮らす市民の利便性を考え、市民からの提案により移動販売が始まった。公共交通の利用が難しくなった高齢者の支援として毎週水曜日に野菜、惣菜、花などの販売店3者と社協包括の共催で開催。毎回30～40名ほどの利用が継続。戸外での販売のため距離を保つことが出来、コロナ禍でも交流する機会が出来た。

④ ごはん処おおぞら

- ・障害者福祉センターおおぞらを広く地域に知っていただくこと、また、包括支援センターの立場で市民の居場所(来店客及びスタッフ)の創出を目的に、「ごはん処」立ち上げに向けて検討を行った。

- ・コロナ感染者数が注目される中、7月にプレ開催、さらに10月からは本格実施となり、令和5年3月には一開催につき40人余りが利用するランチ提供の場となった。

(3) 会議体への参加

- ①円卓会議・地域づくりの会
- ②第1層協議体
- ③ITと買い物
- ④移動支援について

(4) その他地域との関わり

- ①『しゃきょう包括通信』を作成し、年に2回発行。総合相談などで持参し、社協包括を知ってもらいきっかけとして利用した。
- ②協賛企業から提供を受けた塗り絵で「きよせ社協包括春の塗り絵展～桜咲く春の景色～」を開催。これにより地域との交流の機会が減っている高齢者が地域とつながるきっかけとなった。

(5) 研修への参加

- ①生活支援コーディネーター初任者研修
- ②令和4年度区市町村介護予防事業担当者向け研修

## 9. 権利擁護センター事業

### 運営全般

(1) 運営委員会

事業の適正な運営を図るために、学識者(弁護士)をはじめ精神科医師・司法書士・社会福祉士等の専門職や関係機関・団体の代表者、行政職員で構成する運営委員会を開催した。

開催日	内 容
6/17	令和3年度 きよせ権利擁護センター事業報告 令和4年度 きよせ権利擁護センター事業計画
12/13	令和4年度 上半期事業報告 令和5年度 中核機関業務および設置について 法人後見支援事業検討委員会の設置について

(2) 広域連携

関係機関との情報交換や懇談会に参加し、事業の推進、課題整理、先進地域の取り組みについての情報収集等に努めた。

- ①協地域福祉権利擁護事業業務連絡会 6/20, 2/3
- ②東社協地域福祉権利擁護事業 センター長会議 12/1
- ③利用者支援区市町村連絡会 2/27
- ④家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会 2/20
- ⑤成年後見地域連携ネットワーク会議 11/28  
及び成年後見制度推進機関連絡会
- ⑥地域と家裁との連絡会 10/24



- ⑦多摩地域における  
成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会 10/17
- ⑧北多摩北部ブロック権利擁護業務連絡会 6/3, 8/2, 10/18, 3/7

### (3) 地域連携

関係機関の連絡会等に参加し、情報共有・事業周知等を行い、連携強化を図った。

- ①清瀬市地域包括支援センター運営協議会 5/23, 9/26, 2/14
- ②地域包括支援センター虐待事例検討会 2/22
- ③清瀬市高齢者虐待ネットワーク会議 3/17
- ④清瀬市情報公開・個人情報保護審査会 8/19, 10/3, 12/14, 2/27
- ⑤地域懇談会 6/16, 6/22
- ⑥地域福祉フォーラム 12/20

### (4) 研修参加

専門的な知識や技術を確保するため、内部研修の実施とともに外部研修へ参加した。

- ①市町村職員を対象とするセミナー 5/27
- ②苦情対応機関専門研修 1/17
- ③成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議 7/27, 12/19
- ④成年後見制度推進機関職員フォローアップ研修 6/29
- ⑤成年後見制度利用促進セミナー 7/22
- ⑥支援者のための成年後見制度活用講座 8/27, 8/28, 9/17, 9/18
- ⑦成年後見制度利用促進体制整備研修 9月～11月の間で動画視聴  
および11/9～11/11
- ⑧成年後見制度利用促進体制整備応用研修 1月～2月の間で動画視聴  
および2/6, 2/7, 2/15
- ⑨東社協地域福祉権利擁護事業新任専門員研修 4/22
- ⑩東社協地域福祉権利擁護事業専門員研修 6/22
- ⑪東社協地域福祉権利擁護事業専門員フォローアップ研修 11/14
- ⑫北多摩北部ブロック地域福祉権利擁護事業専門員研修 12/16
- ⑬東社協地域福祉権利擁護事業新任生活支援員研修 8/16, 10/18
- ⑭社協地域福祉権利擁護事業現任生活支援員研修 2月～3月の間で動画視聴
- ⑮常生活自立支援事業専門員実践力強化研修 10/11, 11/1

### (5) 関係者向け、広報・啓発活動

- ①アマネット清瀬での地域福祉権利擁護事業の広報活動 9/21
- ②前講座『一緒に学ぶ成年後見制度』於：清瀬わかば会すきっぷ 10/21
- ③前講座『障害のある方の生活をまもるために』  
於：清瀬わかば会工房わかば 12/17
- ④任民生・児童委員向け研修 1/19

## 成年後見制度推進事業

### (1) 法人後見監督の実施

市民成年後見人として成年後見人等を受任する場合において、その活動をサポートするために社協が法人として後見監督を行った。(同行訪問、業務報告の点検、事例検討会への報告等) 成年被後見人の死亡により、令和4年度末時点において市民後見人受任案件が0件となった。それにより、令和5年度は新たな市民成年後見人の受任ならびに法人後見支援員等としての活用が求められる。

○受任件数 0件

①後見類型・高齢者・施設入所中                      平成27年7月15日 後見開始審判  
(令和5年1月26日死亡により終件)

### (2) 法人後見支援事業

後見人等の選任が必要な市民を対象として、法人後見が適当とされる方の後見人等を社会福祉協議会が受任した。

○受任件数 2件

①後見類型・高齢者・在宅                      令和4年7月27日 後見開始審判  
②後見類型・高齢者・入所                      令和4年12月5日 後見開始審判

### (3) 成年後見人サポート

専門職後見人と、事例を基に支援の方向性の検討や連携の方法などを学ぶため、勉強会を開催した。申立支援や後見人サポートの一環として、家庭裁判所への同行、受理面接立会、財産引継の立会、同行訪問等を実施した。また個別の事案について、後見人等からの要請により、都度必要な支援(後見人等支援)を実施した。

### (4) 成年後見利用支援

成年後見制度の利用支援の一環として、相談支援、成年後見申立書類作成相談、家庭裁判所への同行、家庭裁判所の調査官による現地調査立会いなどを行った。 (単位: 件)

種別	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談支援(連絡調整・本人等訪問)	3,081	2,106	2,590
家裁への申立同行	19	9	1
家裁調査官の現地調査立会い等	7	5	2

### (5) 事例検討会

権利擁護センターが関わる事例について、支援の専門性及び客観性を確保するため、専門職からなる事例検討会を開催し、事例検討を行った。

開催日	内容
4/21	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否3件、困難事例1件 ③法人後見受任の適否1件 ④社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
7/13	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否2件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について

開催日	内容
10/12	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否3件(うち1件は法人後見受任の適否含む) ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
12/8	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否1件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
2/15	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否2件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について

(6) 市民成年後見人の育成・活躍支援

○市民成年後見人養成講座の実施

○市民成年後見人養成講座修了者が、市民成年後見人や法人後見支援員として活動し、地域の権利擁護支援の担い手として活躍できるよう支援をしている。

**成年後見制度推進事業**

(1) 一般相談の動向 \*職員(社会福祉士等)による相談

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	
成年後見制度	21	35	4	2	2	3	0	0	0	2	27	42	156%
地域福祉権利擁護事業	22	30	2	2	4	9	0	0	3	1	31	42	135%
権利擁護全般	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100%
相続・遺言	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	300%
福祉サービス苦情	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0%
福祉サービス全般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	300%
合計	45	72	7	4	9	12	0	0	3	3	64	91	142%

(2) 職員による苦情対応 0件

## 専門相談

### (1) 弁護士の福祉法律専門相談の動向

弁護士が対応する高齢者・障害者向けの無料法律相談を毎月第4水曜日の10時～正午に実施。

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	
成年後見制度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	300%
苦情	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0%
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
相続・遺言等	5	4	0	0	0	0	0	0	6	2	11	6	55%
契約・財産問題	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0%
金銭・借金	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	1	25%
訴訟・犯罪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-
離婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
経済(生計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
近隣・住まい	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	100%
示談・慰謝料	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0%
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
養子縁組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-
人権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	4	1	0	0	1	0	0	0	3	0	8	1	13%
合計	16	6	0	0	2	0	0	0	11	8	29	14	48%

## 成年後見専門相談

### (1) 成年後見専門相談の動向

制度利用を考えている方や後見人になった後の相談などに、弁護士、司法書士、社会福祉士が相談対応。年8回実施（1回の相談で2人受付。お一人1時間程度）

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	
申立前(親族)	7	7	2	0	1	0	0	1	10	8	80%
(本人)	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	100%
(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
申立後(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	11	11	2	0	1	0	0	1	14	12	86%

地域福祉権利擁護事業

(1) 事業動向

判断能力が十分でない高齢者、知的障害者、精神障害者に対する福祉サービス利用援助や金銭管理等の事業を東京都社会福祉協議会から受託。

①相談経路

対象区分	高齢者等		知的障害		精神障害者等		その他		合計		前年比
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	
ケアマネ	11	14	1	0	1	3	2	1	15	18	120%
生保W	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0%
市	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0%
病院相談員	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	50%
福祉施設	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-
包括支援センター	7	10	0	1	0	0	1	0	8	11	138%
本人	1	2	0	0	1	1	0	0	2	3	150%
親族	0	3	2	1	0	1	0	0	2	5	250%
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
社協内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
ヘルパー事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
障害者相談支援事業所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-
生活相談支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	100%
合計	22	30	3	2	4	9	3	1	32	42	131%

②契約状況 令和4年4月から令和5年3月まで

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		不明・その他		身体障害者等 (対象拡大)		合計		前年度末	
	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保
新規契約	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	9	1
契約終了	10	2	0	0	1	1	0	0	0	0	11	0	12	6
契約者合計	20	5	1	0	4	2	5	1	0	0	30	0	37	12
割合	25%		0%		50%		20%		-		95%		32%	
契約準備件数	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2	0

※解約事由（死亡5 施設入所・長期入院2 後見移行1 転出2 その他1 計11）

※割合中「計」欄は全体に対する割合、「うち生保」欄は区分別の生保割合を示す

※平成17年12月から令和5年3月現在までの契約者 延べ203名

③専門員連絡調整回数

年/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (延べ回数)
R2	392	203	504	472	457	348	403	389	401	391	347	488	4,795
R3	463	360	405	314	306	338	328	298	343	259	310	356	4,080
R4	331	282	345	279	300	285	278	252	285	255	268	206	3,366

(2) 生活支援員関連

- きよせ権利擁護センター新任生活支援員研修会 4/15, 4/21, 5/2
- きよせ権利擁護センター生活支援員連絡会 6/30, 11/29, 3/13

**市民啓発事業**

令和4年度は、コロナ禍を経て3年ぶりに市民成年後見人養成事業を実施した。権利擁護セミナーおよび権利擁護サポーター養成講座と連動する形式をとった。講座修了生11名のうち、5名が新たに後見活動メンバーとして登録に至り、今後は地域福祉権利擁護事業の生活支援員業務から実践活動にあたる予定である。

(1) 権利擁護セミナー

市民に向けて、成年後見制度や福祉サービス利用に関する権利擁護支援についての理解を深めてもらう目的で実施した。

開催日	講座名	参加者
8/6	権利擁護セミナー 「知ってあんしん成年後見制度」	22名。うち1名が市民成年後見人養成講座の受講につながった。
11/7	シニアしっとく講座・権利擁護セミナー「老後に考えたいお金のこと～もしもの時に備えるこれからの終活」	14名。

(2) 市民成年後見人養成 入門講座

開催日	講座名	参加者
8/29	権利擁護サポーター養成講座 ・オリエンテーション ・市民成年後見人実践活動報告	11名。 全員が市民成年後見人養成基礎講座に進むことを選択した。

(3) 市民成年後見人養成 基礎講座 開催期間：9/12～12/5 全8回

開催日	内容
9/12	被後見人等への基本的な視点
9/26	支援のための法律知識(民法等)
10/3	障害の理解と対象者理解(認知症、知的障害、精神障害)
10/17	成年後見に関連する制度理解(介護保険、障害者福祉、年金制度)
10/31	消費生活相談の実態と対応
11/7	後見人等の事務実務
11/21	後見人等としての対応演習
12/5	・社会福祉対人援助の基礎 ・効果測定(小テスト、レポート)

(4) 市民成年後見人養成 演習講座

開催日	内容
1/23	○高齢者施設 オンライン見学実習 《集合型》 ○後見監督・サポート説明について ○修了式

(5) その他広報

- きよせ権利擁護センターリーフレットの新規作成
- 専門相談・成年後見専門相談・出前講座のチラシ作成配布
- 福祉法律専門相談の市報掲載
- 社協だよりや社協のホームページに権利擁護センター事業案内掲載

## 10. 障害者福祉センター事業

センター全体の取り組み
-------------

(1) 組織・動向

日付	内容
4/1	第4期指定管理(令和4年年度～令和8年度)スタート
4/1	センター愛称『おおぞら』の使用開始
5/1	機能訓練・ワンポイントリハビリ開始
7/1	『「ひまわりの清瀬」気運醸成事業』に参加
7/25～26	新型コロナの影響により臨時休業(ひまわり園)
8/26, 8/29	新型コロナの影響により臨時休業(のびのび)
8/30	介護保険事業・機能訓練特化型デイサービスの開始
12/22	保護者事業説明会
2/15	ぴゅああーと展にてひまわり園利用者制作の二作品が入賞
2/28	指定管理者監査
3/1	センター床等改修工事の完了
3/27	利用者・保護者向け広報紙『おおぞらだより』発行

(2) 会議等の開催 (単位：件)

センター運営委員会	2
職員全体会	2
ワーキング・委員会	18
その他	2

(3) 職員研修状況 (単位：件)

研修等への出席	21
内部研修の実施	9

※内部研修のうち3件は新人職員虐待防止研修

(4) 地域連携

①会議・イベントの開催	5件
②連絡会等への出席	21件
③イベント等への参加	0件

(5) 実習・研修等の受け入れ

種別	件数(件)	延べ人数(人)
社会福祉士	12	57
介護福祉士	1	15
介護等体験	0	0
ボランティア体験	0	0
公務員研修	0	0
職場体験(中学生)	3	21
職員交換研修	0	0
その他	3	12
見学	22	43
施設利用実習・体験利用	3	7

(6) 災害対策関連

①災害対策WGの開催	11回
②自衛消防訓練の実施	3回

(7) 備品、設備等の貸し出し(主に2階実習室の貸し出し回数)

声のボランティア	9	カフェおおぞら	16
録音室	89	切手サロン	3
10の筋トレ	41	権利擁護センター	1
地域包括支援センター	11		
ごはん処おおぞら	31		

管理係

(1) 施設管理

①会計管理

- ・適正な予算施行、会計管理を目指し、随時処理手順の見直しを実施した。
- ・経費削減に関する情報を収集。
- ・財務会計システムの更新に対応した。

②施設設備・備品管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
修理等件数	0	4	2	2	3	6	1	9	2	5	6	3	43



③支援システム運用

- ・バージョンアップ対応や円滑な運用の為の情報提供に努めた。

④業務の標準化

- ・各種業務マニュアルの見直しを随時行った。

(2) 給食サービス

- ①食材や調理を工夫し、安全に食べられる給食を提供した。
- ②材料費の値上がりによって、使用できる食材や献立に制約がある中で、利用者からのリクエストに、可能な範囲で応えた。
- ③肥満度等に合わせた食事の摂取量について書面で提案した。

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提供食数	619	575	656	589	544	567	547	479	566	508	547	625	6,822

(3) 送迎サービス

- ①乗務員と連携をとりながら、安全、安心な送迎サービスの提供に努めた。

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
のべ利用者数	1,012	993	1,096	933	787	962	1,002	984	954	914	938	944	11,519

(4) 保健・衛生管理

- ①医療的ケアが必要な利用者の支援や嘱託医など関連機関と連携し、保健衛生の面から利用者を支援すると共に、情報を整理して利用者や家族などに提供した。
- ②センターの状況にあった感染症対策に取り組んだ。

(単位：件)

事業所	ひまわり	のびのび	のぞみ	機能訓練	入浴サービス	その他	合計
看護師対応件数	627	43	1,401	1,014	127	4	3,216

第1係

(1) 清瀬ひまわり園（生活介護事業）

- ①家庭の事情により年度末に1名が利用を終了した。
- ②引き続き、感染予防に配慮しながら、活動内容や支援の方法を見直し、現状に適した形でのサービス提供に努めた。
- ③多摩六都パラアート展・ぴゅああーと展に出展し、創作・絵画作品が入賞した。
- ④特別支援学校から進路実習を6名受け入れた。
- ⑤送迎業務内製化により利用者送迎時間を変更し、職員による運転、添乗業務を担った。

⑥利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
のべ利用者数	388	391	440	349	287	390	374	365	376	360	371	371	4,462

1人あたり平均利用日数(月平均)	平均利用者数(日平均)
16日	18.9人

(令和5年3月末現在)

障害支援区分	2	3	4	5	6	合計
人数	0	2	8	10	4	24

※障害支援区分の合計人数には、長期欠席者1名が含まれます。

第2係

(1) 相談支援事業所(相談支援事業)

- ①利用者本人の意思を尊重し、利用者自身が行えることはご自分で取り組んでいただき、支援関係者と役割分担をしながら、利用者本人が持っている『強み』を活かした問題解決に取り組んだ。
- ②関連する行政機関や病院、地域包括支援センター、権利擁護センター、ボランティア・市民活動センターなどと連携しながらケースに対応した。
- ③資源開拓については、感染防止のための自粛などの影響で、十分な情報収集が行えなかった。

④年間実利用者数	
障害種別	人数(人)
身体障害	16
重症心身障害	4
知的障害	78
精神障害	34
発達障害	19
高次脳機能障害	2
その他	1
合計	154

⑤支援方法別 年間相談件数									(単位：件)
障害種別/支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	支援会議	関係機関	その他	合計
身体障害	24	4	1	77	0	4	92	0	202
重症心身障害	7	3	1	37	0	3	63	1	115
知的障害	93	57	20	338	2	9	424	1	944
精神障害	20	9	6	115	1	4	63	0	218
発達障害	52	8	30	250	3	8	218	1	570
高次脳機能障害	4	3	1	15	0	0	14	0	37
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	200	85	59	832	6	28	874	3	2,087

⑥相談内容別 年間支援回数													(単位：回)
	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安・情緒不安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加 ・余暇活動	権利擁護	その他	合計
身体障害	105	20	61	24	0	10	22	80	13	3	0	0	338
重症心身障害	105	11	23	5	1	3	1	5	0	0	0	0	154
知的障害	536	37	230	348	19	108	65	215	9	13	20	11	1,611
精神障害	79	14	42	116	1	38	48	50	37	1	1	10	437
発達障害	146	31	210	221	25	42	159	144	92	5	2	0	1,077
高次脳障害	21	16	2	19	0	2	0	7	13	1	0	0	81
その他	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	5
合計	992	130	569	734	46	203	296	502	164	23	23	21	3,703

⑦計画相談利用者数（令和5年3月末現在）			(単位：件)
障害者	障害児	合計	
81	12	93	

## (2) 学童クラブのびのび

- ①全国的にも陽性者の増加が見られたため、飲食スペースを分けるなど、感染予防のための工夫をした。
- ②手洗いや換気など感染予防のための指導に重点を置いた。
- ③就学前施設と連携し、新しく1年生を受け入れた。
- ④利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	16	14	14	17	15	14	15	15	16	16	15	17	184
のべ利用者数	131	119	135	116	95	112	126	125	126	128	122	125	1,460

1人あたり平均利用日数（月平均）	平均利用者数（日平均）
7.9日	6.2人

(3) 同行援護事業

- ①令和3年度と比べ、利用者数は122%、のべ利用者数は152%、のべ時間数は189%に上昇した。また、新規利用者が1名増えた。
- ②感染対策を行いながら、従業者研修を開催した。
- ③福祉教育を通して、事業の普及啓発を行った。

④利用状況													(単位：人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	9	6	8	6	7	6	9	8	8	6	7	9	89
のべ利用者数	28	29	35	23	21	23	36	35	25	24	23	22	334

(4) 移動支援事業・生活サポート事業

- ①移動支援事業の利用件数は、『不要不急の外出自粛』の影響で大幅に減少し、依頼自体も減少している。
- ②稼働できるヘルパーが少なく、新規を受けることが難しい状況となっている。
- ③生活サポートについては問い合わせなし。

④移動支援利用状況													(単位：人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	1	0	0	1	0	1	0	5	3	3	1	5	20
のべ利用者数	1	0	0	1	0	1	0	6	3	3	1	6	22

⑤生活サポート事業利用状況													(単位：人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
のべ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3係

(1) 機能訓練事業所

- ①【新規】令和4年6月介護保険要支援者対象のデイサービス事業開始  
(基準緩和型デイサービス)  
・実利用者数10人 延べ利用者数190人
- ②【新規】令和4年4月医療・福祉にこだわらない地域住民向けのワンポイントリハビリ事業を開始  
・実利用者数9人 延べ利用者数 110人
- ③介護保険要介護者対象のデイサービス事業開設に向けた手続き実施

④利用状況(機能訓練)													(単位：人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	3	3	3	3	5	5	5	5	4	2	3	4	45
のべ利用者数	51	51	56	53	63	77	76	77	47	28	27	44	650

一人あたり平均利用日数(月平均)	平均利用者数(日平均)
14.4日	2.7人

(2) 生活介護事業所のぞみ

- ①昨年度に引き続き、感染予防に配慮しながら、現状に即した支援の実施に努めた。
- ②特別支援学校卒業生1名が生活介護の利用につながった。(医療的ケア対象者)
- ③都外特別支援学校から2名の進路実習を受け入れた。
- ④1名がご家庭で亡くなったため利用終了した。
- ⑤送迎業務内製化により利用者送迎時間を変更し、職員による運転、添乗業務を担った。

⑥利用状況													(単位：人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	118
のべ利用者数	102	93	99	98	79	90	88	88	82	68	71	86	1,044

1人あたり平均利用日数(月平均)	平均利用者数(日平均)
8.8日	4.4人

(令和5年3月末現在)

障害支援区分	2	3	4	5	6	合計
人数	0	2	2	0	5	9

(3) 入浴サービス事業

○従事者の不足に対して、事業所や係の枠を超えて、福祉センター全体で入浴事業の維持に取り組み、可能な限り同性介助の継続及び安定した質の高い支援の提供に努めた。

○利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	81
のべ利用者数	35	37	37	31	30	34	28	28	31	26	26	26	369

## 利用者の動向

(1) 障害種別ごとの登録者数 (令和5年3月末現在)

(単位：人)

		第1係	第2係			第3係			合計
		ひまわり園	学童クラブ のびのび	同行援護	移動支援 生活サポート	機能訓練 事業所	生活介護 のぞみ	入浴 サービス	
身体障害者手帳	1級	3	1	8	4	1	5	3	25
	2級	5	0	4	3	2	4	2	20
	3級	1	2	2	1	0	0	0	6
	4級	0	0	1	0	1	0	0	2
	5級	0	0	1	0	0	0	0	1
	6級	0	0	0	0	0	0	0	0
愛の手帳	1度	1	0	0	0	0	3	1	5
	2度	19	5	0	10	0	1	0	35
	3度	4	7	0	7	0	0	1	19
	4度	0	2	0	4	0	0	1	7
精神障害手帳		0	1	0	0	0	0	0	1
手帳無し		0	2	0	0	0	0	0	2
重複		9	3	0	8	0	4	2	26
合計		24	17	16	21	4	9	6	97
前年合計		24	19	14	22	3	9	7	98

(2) 年齢別登録者数 (令和5年3月末現在)

(単位：人)

	第1係	第2係			第3係			合計
	ひまわり園	学童クラブ のびのび	同行援護	移動支援 生活サポート	機能訓練 事業所	生活介護 のぞみ	入浴 サービス	
～19才	0	17	0	7	0	1	0	25
20才～29才	3	0	0	1	1	0	0	5
30才～39才	8	0	0	4	1	3	2	18
40才～49才	8	0	1	5	0	2	2	18
50才～59才	3	0	2	1	1	1	2	10
60才～	2	0	13	2	1	2	0	20
合計	24	17	16	21	4	9	6	97
前年合計	24	19	14	22	3	9	7	98

(3) 利用状況総括表(のべ利用者数)

	第1係	第2係				第3係			給食サービス	送迎サービス	合計
	ひまわり園	相談支援事業	のびのび 学童クラブ	同行援護	生活サポート 移動支援	機能訓練事業所	生活介護のぞみ	入浴サービス			
4月	388	173	131	28	1	51	102	35	619	1,012	2,538
5月	391	176	119	29	0	51	93	37	575	933	2,464
6月	440	174	135	35	0	56	99	37	656	1,096	2,728
7月	349	185	116	23	1	53	98	31	589	933	2,378
8月	287	132	95	21	0	63	79	30	544	787	2,038
9月	390	189	112	23	1	77	90	34	567	962	2,445
10月	374	189	126	36	0	76	88	28	547	1,002	2,466
11月	365	168	125	35	6	77	88	28	479	984	2,355
12月	376	144	126	25	3	47	82	31	566	954	2,354
1月	360	190	128	24	3	28	68	26	508	914	2,249
2月	371	157	122	23	1	27	71	26	547	938	2,283
3月	371	211	125	32	6	44	86	26	625	944	2,470
合計	4,462	2,088	1,460	334	22	650	1,044	369	6,822	11,519	28,770
前年 合計	4,817	1,967	1,701	215	138	401	999	364	5,971	12,020	28,593

